

自動点訳システム 点訳ちゃん 操作ガイド



テクノツール株式会社
©2024 Technotools corporation
2024/8/19 ver1.0.0 (rev1)

もくじ

インストールしよう。	4
起動してみよう。	5
ライセンスの購入や登録について	6
終了する場合の注意点.....	6
自動点訳システム 点訳ちゃん のメイン画面を理解しよう。	7
試しに点訳してみよう（テスト点訳）	8
原文テキストを入力してみよう	8
テスト点訳を実行してみよう	9
各エリアでカーソル移動してみよう.....	10
文節候補一覧で修正してみよう	11
原文エリアで修正してみよう	11
分かち書きエリアで修正してみよう	14
点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）に保存しよう	15
保存した点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）を開いて確認してみよう	16
段落を移動して点訳結果を確認してみよう	18
段落ジャンプについて.....	19
しおりの設定と移動（ジャンプ）について.....	19
原文および分かち書きの検索について	20
段落の分割と統合について	21
点訳ファイルから BES/BESX/テキスト ファイルを作成してみよう	22
原文テキストファイルを読み込んで点訳しよう	23
「第1段落から逐次点訳を開始する」で逐次点訳をする.....	23
「全体を一括点訳する」で一括点訳してあとから確認と修正をする	27
本格的に点訳作業を始めましょう	31
作業の流れ.....	31
原文テキストファイルを準備します	31
著作権について十分に理解しよう	31
テキストファイルを準備しよう	32
原文テキストファイルを整理しておきましょう	33
原文テキストを整えたら点訳作業を進めましょう	39
点訳条件の設定をしましょう。	39
確認と修正（校正作業）を行います（※必ず行いましょう）	41
点字文書ファイル作成.....	42
点字文書ファイル作成後に確認と修正を行います（※必ず行いましょう）	42

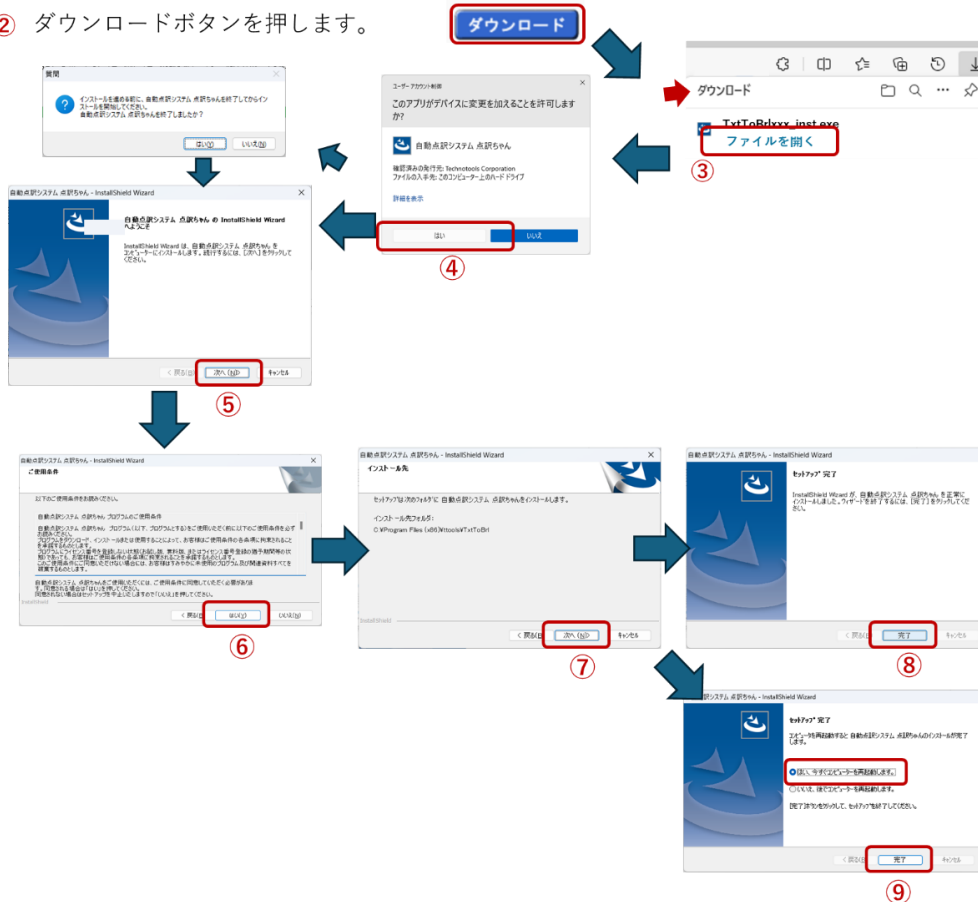
辞書登録するには。	43
辞書保守画面を開く	43
単語を検索するには	43
単語を追加するには	44
登録済みの単語の抑制レベルやコメントを変更するには.....	45
登録済みの単語を削除するには	45
墨字印刷について	46
印刷するリストの種類.....	46
印刷プレビューと印刷.....	46
その他.....	46
各種設定やメニューについて	47
環境設定	47
点訳設定	47
点字ファイル	48
辞書と専門用語	48
原文エリア.....	48
分かち書きエリア.....	49
文節候補一覧.....	49
点字確認エリア	49
メニューの構成.....	51
ライセンスの購入・登録・解除・リセット.....	53
1. ライセンスのご購入.....	53
2. 有料版登録（ライセンス番号の登録）	54
ライセンスの解除と、ライセンスのリセットについて	60

インストールしよう。

1. 自動点訳システム 点訳ちゃん のダウンロードページを開きます。
<https://ttools.co.jp/product/eyes/best/>
(URL は予告なく変更になる場合があります)
2. [ダウンロード] ボタンを押してダウンロードします。
3. ブラウザーの右側に「ダウンロード」の項目が表示されます。ダウンロードが完了すると「ファイルを開く」の項目が表示されたらそれを選択します。
4. ユーザーアカウント制御の画面では「はい」を選択します。
5. 「よろこ」の画面では、「次へ」を選択します。
6. 「ご使用条件」の画面では、ご使用条件をよくお読みになって、同意いただける場合は「はい」を選択します。
7. 「インストール先」の画面ではそのまま「次へ」を選択します。
8. 「完了」の画面では「完了」を選択します。
9. Windows の再起動が必要な場合は、画面に指示に従って再起動してください。

- ① ダウンロードページを開きます。
- ② ダウンロードボタンを押します。

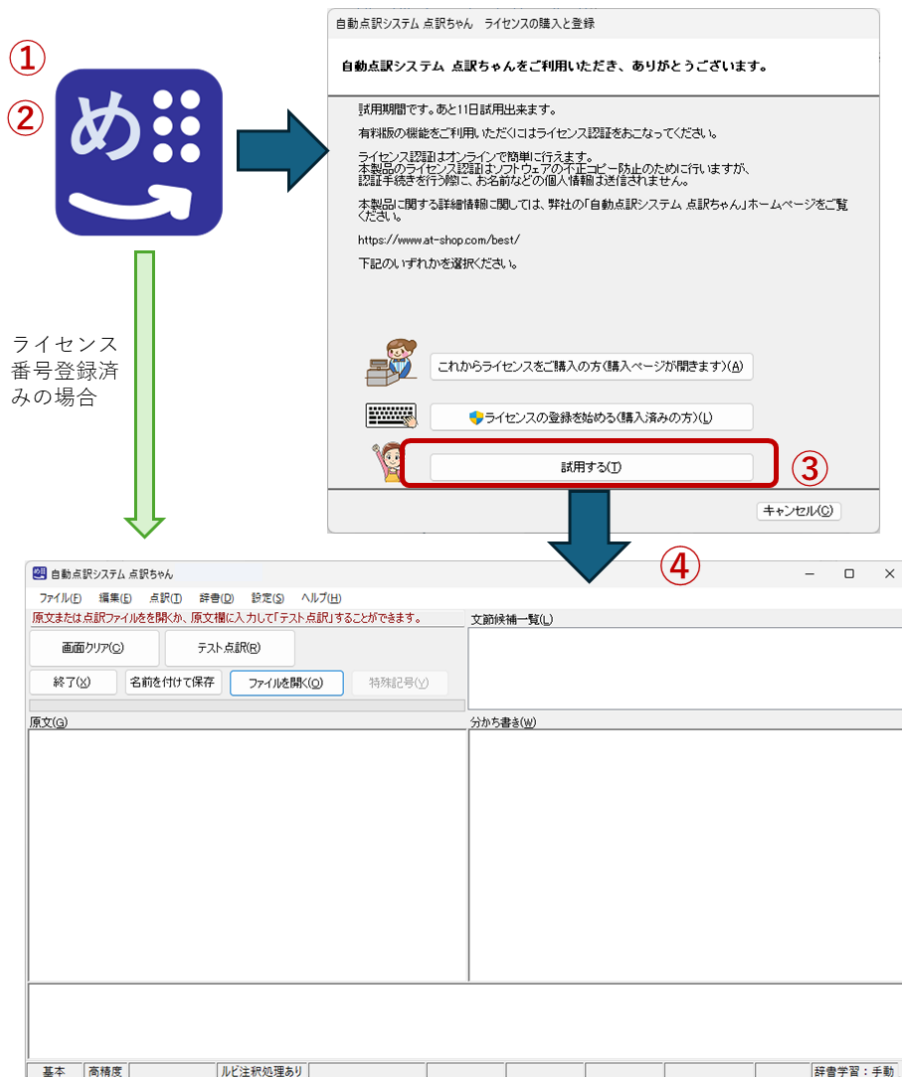
<https://ttools.co.jp/product/eyes/best/>



起動してみよう。

1. デスクトップにある「自動点訳システム 点訳ちゃん」のアイコンを見つけます。
2. ダブルクリックやエンターキーで起動します。
3. ライセンスの購入と登録の画面が表示されたら、インストール後 14 日以内の場合は、「試用する」を選択します。ESC キーを押しても「試用する」を選択できます。
4. 自動点訳システム 点訳ちゃん のメイン画面が表示されます。(ライセンス番号を登録するとメイン画面がすぐに表示されます)

ライセンスのご購入まえに、まずは「試用する」で使ってみましょう。



ライセンスの購入や登録について

インストール後 14 日を超えると「試用する」のボタンが利用できなくなります。引き続きご利用になる場合は、ライセンスのご購入をご検討ください。

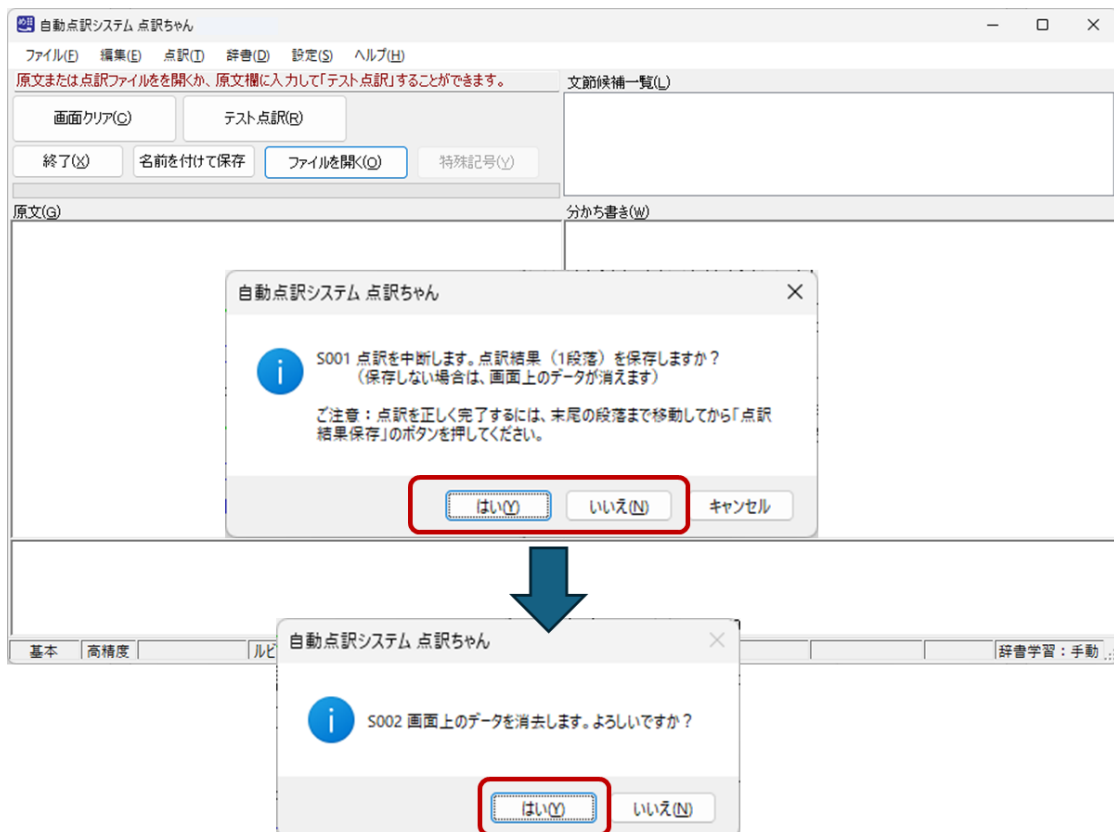
ライセンスのご購入手順や、ライセンスの登録手順については、53 ページ「[ライセンスの購入・登録・解除・リセット](#)」の章をご参照ください。

終了する場合の注意点

アプリケーションを終了する場合は、右上の「×」または、メニューの中の「ファイル」の中の「終了」を選択します。

もし、点訳ファイルを開いているときは、保存するかどうか確認画面が表示されます。保存する場合は「はい」保存しない場合は「いいえ」を選択してください。

必要に応じて、「保存する」または「保存しない」の選択をして終了してください。続いての画面上のデータを消去するかの画面で「はい」を選択してください。



自動点訳システム 点訳ちゃん のメイン画面を理解しよう。



1	タイトルバー	プログラム名を表示します。続いてバージョン番号やファイル名など表示します。
2	メニューバー	各種機能実行するメニューです。
3	メッセージエリア	必要に応じてメッセージやファイル名などを表示します。
4	操作ボタンエリア	状況に応じて利用できる機能ボタンがあります。
5	進捗状況表示バー	点訳の進捗状況を表示します。
6	原文エリア	普通の日本語文章（漢字仮名混じり）を入力や編集をするエリアです。原文(G)のラベル表示には（現在の段落数 / 総段落数）の情報も表示します。
7	分かち書きエリア	点訳結果（分かち書き）のデータが表示されるエリアです。必要に応じて編集もできます（点字に変更できる文字や記号以外は入力できません） 分かち書き(W)のラベル表示には（現在の段落数 / 総段落数）の情報も表示します。
8	文節候補一覧	分かち書きエリアの任意の場所をクリックまたはカーソルを移動すると、その文節の文節候補一覧を表示します。一覧から正しい項目を選択することで、点訳結果を変更することができます。
9	点字エリア	点訳結果（分かち書き）を元に、点字にした状態（点字のイメージ（凸表示））を表示します。
10	ステータスバー	各種情報を表示します。

試しに点訳してみよう（テスト点訳）

自動点訳システム 点訳ちゃん を起動すると、「テスト点訳」のモードで起動します。

原文エリアに点訳したい文章を入力します。直接入力したり、ほかのアプリからコピー＆ペーストでテキストを貼り付けて、素早く点訳することができます。

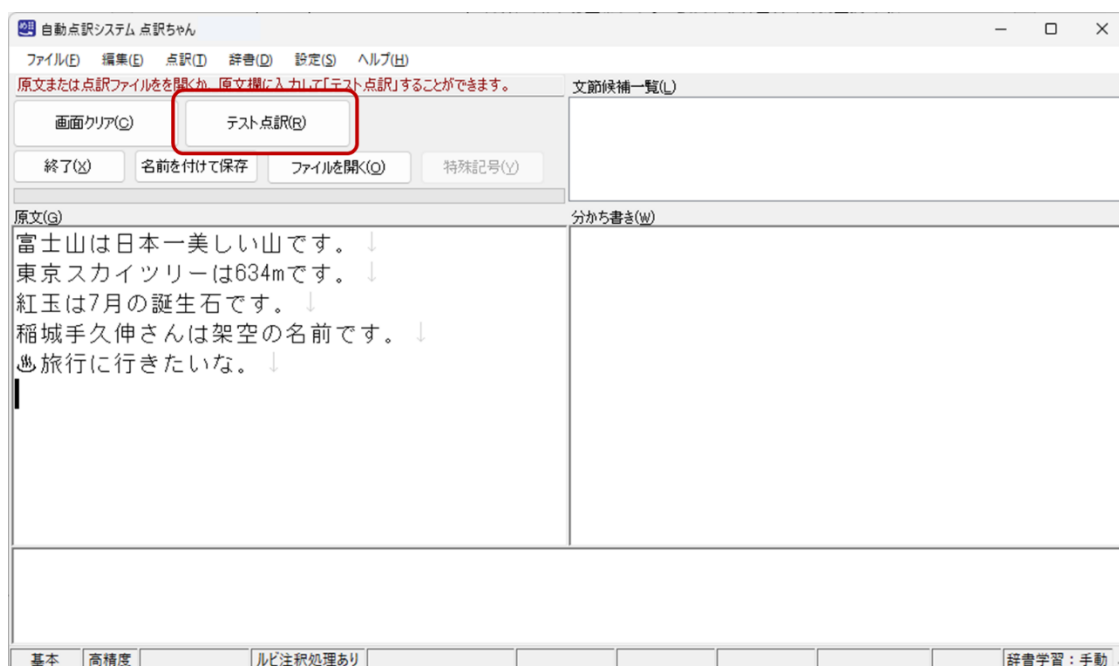
※すでにテキストファイルの準備ができている場合は「[原文テキストファイルを読み込んで点訳しよう](#)」を参照してください。

原文テキストを入力してみよう

原文エリアに点訳したい文章を入力します。（コピー＆ペーストで貼り付けることもできます）試しに下記のような5行（5段落）の文章を入力してみましょう。（コピー＆ペーストで貼り付けることもできます。）

例文	富士山は日本一美しい山です。 東京スカイツリーは634mです。 紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。 ♨️旅行に行きたいな。
----	---

※ 「♨️」（温泉マーク）は日本語変換で「おんせん」と入れて変換すると入力できます。



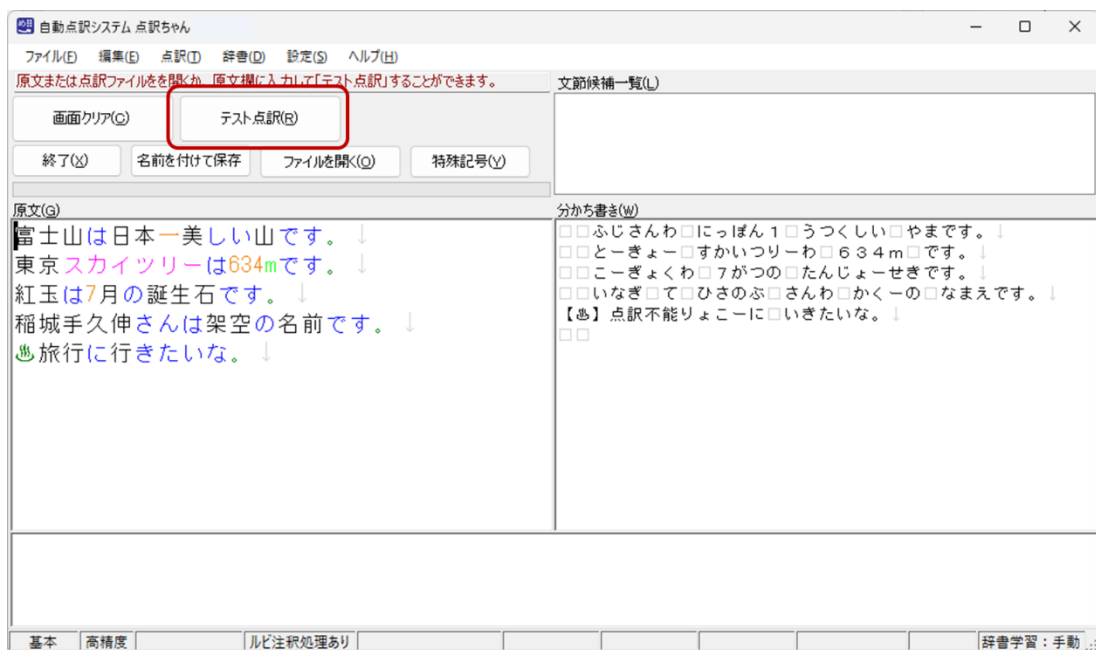
テスト点訳を実行してみよう

操作ボタンエリアにある「テスト点訳」ボタンを押して、点訳が完了するまで待ちます（点訳処理中は、進捗状況表示バーで状況が表示されます）。

点訳が完了すると分かち書きエリアに、点訳結果（分かち書き）が表示されます。「原文エリア」「分かち書きエリア」「点字エリア」の各エリアで、どのような表示になっているか確認してみましょう。

原文エリア	文字の種類別に色分け処理が行われて表示されていることを確認してみましょう。
分かち書きエリア	点訳結果（分かち書き）が表示されていることを確認しましょう。
点字エリア	点字のイメージが表示されていることを確認しましょう。 ※分かち書きエリアにエラー表示がある場合は、点字エリアは表示されません。

メモ：例文を入力してテスト点訳すると、分かち書きエリアには、「点訳不能」というエラーが表示されますが、あとで修正しますのでご安心ください。



各エリアでカーソル移動してみよう

原文エリア／分かち書きエリア／点字エリアに移動して、マウスクリックやカーソル移動を試みましょう。カーソルを移動するたびに、それぞれのエリアの対応する文節が反転表示されます。

- 「文節候補一覧」を表示したいときは、分かち書きエリアでカーソル移動します。
- 例文では「点訳不能」のエラーがあるため、点字エリアには何も表示されません。後でエラーを修正すると点字エリアも表示されます。

原文エリア	対応する文節が反転表示されます。
分かち書きエリア	対応する文節が反転表示され、文節候補一覧が更新されます。
文節候補一覧	分かち書きエリアで操作した場合に限り、対応する文節に対して、文節候補一覧エリアに文節候補が表示されます。
点字エリア	対応する文節が反転表示されます。(※分かち書きエリアにエラー表示がある場合は、点字エリアは表示されません)

自動点訳システム 点訳ちゃん

ファイル(F) 編集(E) 点訳(D) 辞書(S) 設定(O) ヘルプ(H)

原文または点訳ファイルを開くか、原文欄に入力して「テスト点訳」することができます。

画面クリア(C) テスト点訳(B)

終了(X) 名前を付けて保存 ファイルを開く(O) 特殊記号(Y)

原文(G)

富士山は日本一美しい山です。 ↓
 東京スカイツリーは634mです。 ↓
 紅玉は7月の誕生石です。 ↓
 稲城手久伸さんは架空の名前です。 ↓
 旅行に行きたいな。 ↓

分かち書き(W)

ふじさんわ □ にっばん 1 □ うつくしい □ やまです。 ↓
 とーきょー すかいつりーわ □ 634m □ です。 ↓
 こーぎょくわ 7がつの □ たんじょーせきです。 ↓
 いなぎ □ て ひさのぶ □ ざんわ □ かくーの □ なまえです。 ↓
 【曲】点訳不能りょこーに □ いきたいな。 ↓

文節候補一覧(L)

ふじさんわ ※山梨県/静岡県 (3776m) +は
 ふじやまわ ※埼玉県入間市駒形+は <10,19>
 とみすやまわ ※愛媛県大洲市 (320m) +は <9
 ふじざんわ ※静岡県の市名など+山+は <9,18>
 とみすざんわ ※愛媛県大洲市+山+は <5,14>

分かち書きエリアでカーソル移動すると、文節候補一覧が表示されます。

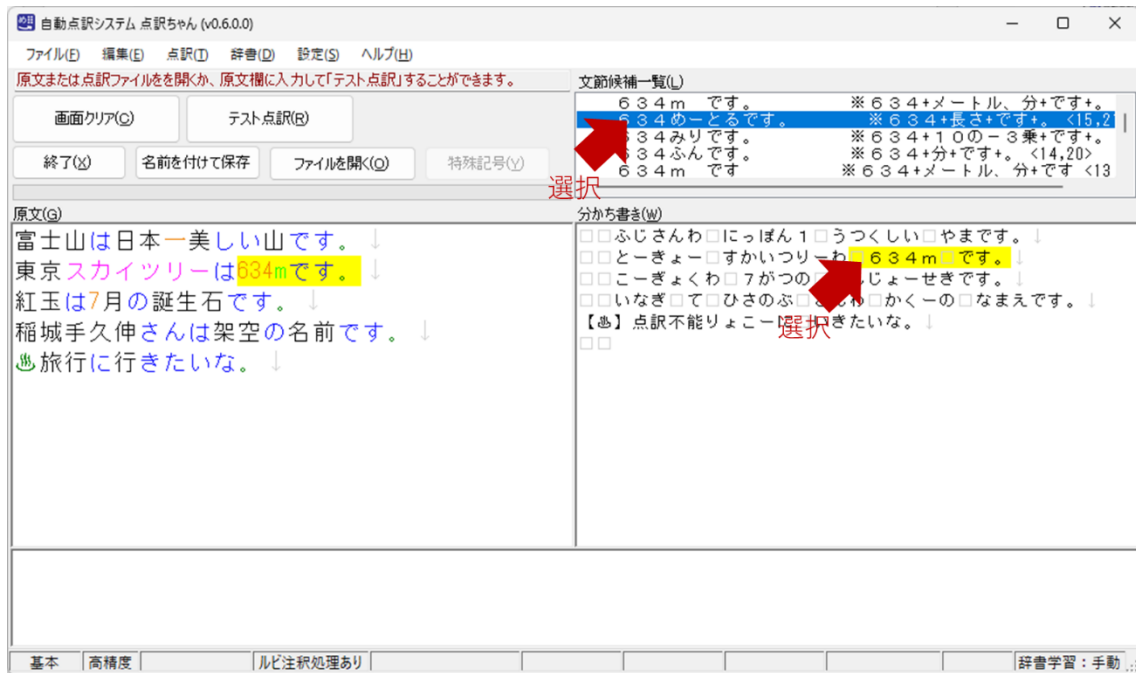
点訳不能のエラーがある場合は表示されません。エラーを修正すると表示されます。

基本 高精度 ルビ注釈処理あり 辞書学習: 手動...

文節候補一覧で修正してみよう

点訳結果にエラーがあったり、まちがった点訳になっていた場合は、それを修正します。

文節候補意一覧で修正	<ol style="list-style-type: none"> 1. 点訳結果が正しくない場合は、分かち書きエリアで、その文節に移動します。 2. 対応する文節候補一覧が表示されます。 3. 一覧から正しい点訳を選択します。
例文の修正のヒント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本一」は「にっぽん1」か「にほん1」か？ 2. 「富士山」はお住まいの地域によって読みが違うかも？(※) 3. 長さは「m」でよい？それとも「めーとる」がいい？ <p>(※本システムでは「富」は「富」の異体字として登録して、同じ文字として認識して点訳処理をしています)</p>



原文エリアで修正してみよう

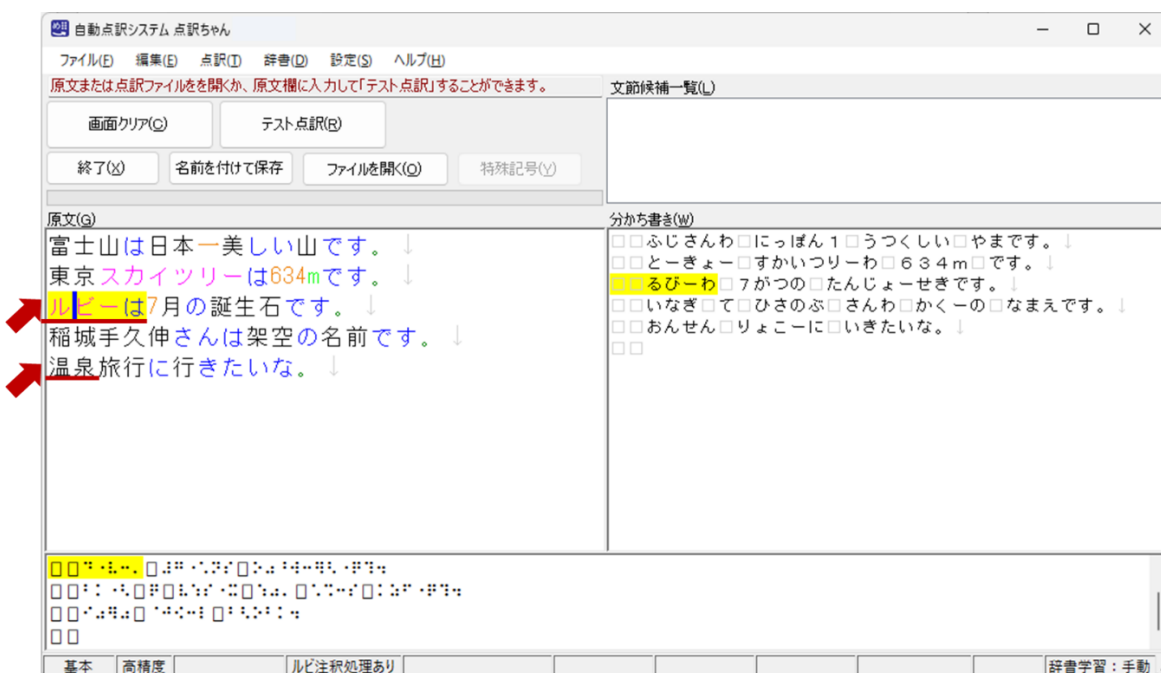
1. ♨ (温泉マーク) がうまく点訳できずに「点訳不能」のエラーになっています。
2. 「紅玉」の部分は「こーぎょく」と点訳されていますが、この文章を書いた人は「紅玉」と書いて「ルビー」と読ませたかったとします。

このような場合、原文エリアでは正しい点訳にするために、エラーの出ない文字に変更したり、漢字や記号などを「よみがな」に変更したり、ルビ（ふりがな）を追加することができ

ます。

エラーの出ない文字にしたり漢字や記号を「よみがな」に変更する例

修正前	紅玉は7月の誕生石です。 ㊦旅行に行きたいな。
修正後	ルビーは7月の誕生石です。 温泉旅行に行きたいな。



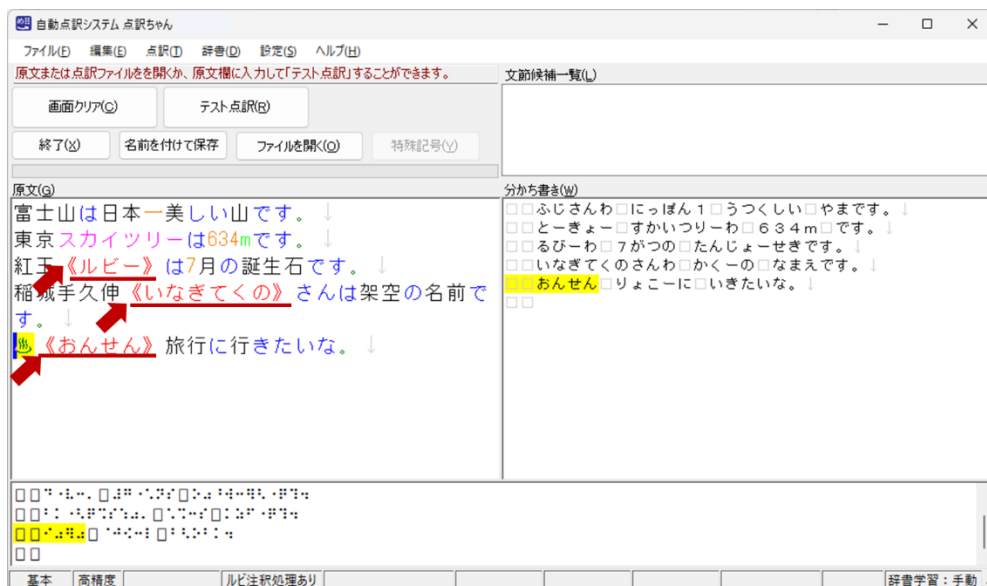
ルビを追加する (1)

ルビを追加するには、その単語や記号の右側に二重山カッコの開きと閉じ「《 》」を入力します。

これは、日本語入力で「かっこ」と入力して変換することで、入力することができます。

この二重山カッコの中にルビのテキストを入力します。

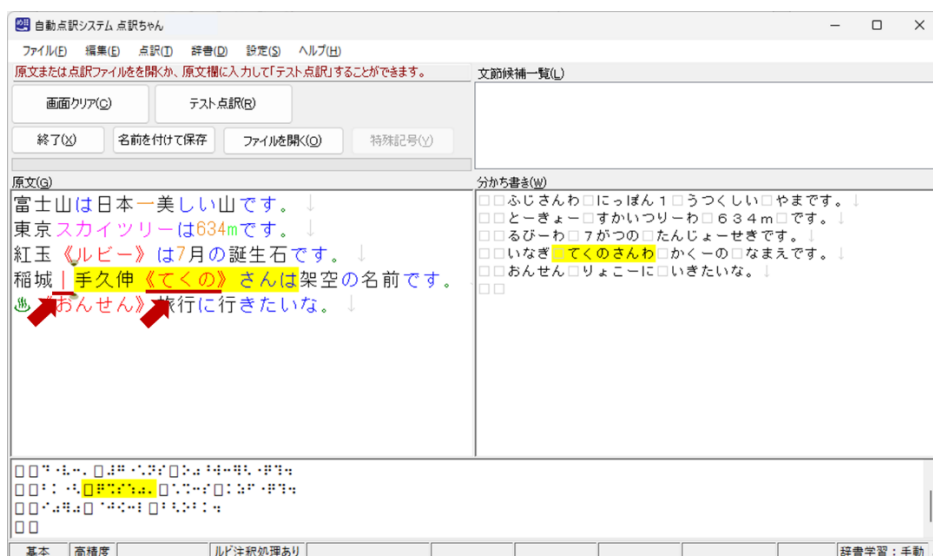
修正前	紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。 ㊦旅行に行きたいな。
修正後	紅玉《ルビー》は7月の誕生石です。 稲城手久伸《いなぎてくの》さんは架空の名前です。 ㊦《おんせん》旅行に行きたいな。



ルビを追加する (2)

ルビを追加する (1)「稲城手久伸」さんの場合、「手久伸」のところだけにルビを追加したいことがあります。でも、「稲城手久伸《てくの》」としてしまうと、「稲城手久伸」全体で「てくの」となってしまいます。その場合は、縦棒「|」で範囲を指定します。これは、日本語入力で「たてぼう」と入力して変換することで、入力することができます。

修正前	稲城手久伸さんは架空の名前です。
修正後	稲城 手久伸《てくの》さんは架空の名前です。



分かち書きエリアで修正してみよう

原文エリアで、正しい点訳となるように修正することもできますが、原文は変更したくない、あるいは、マスあけ（分かち書き）の簡単な修正、点字特有の表記の修正などの場合は、分かち書きエリアで、点訳結果を修正することができます。

なお、注意点としては、点字に直接変換可能な文字のみ入力可能です。それ以外の文字を入力するとエラーになりますので、注意が必要です。

分かち書きエリアで入力可能な文字

- 全角スペース、全角句読点
- 全角のひらがな
- 全角英数字、全角英文字記号（一部）
- 一部の全角記号

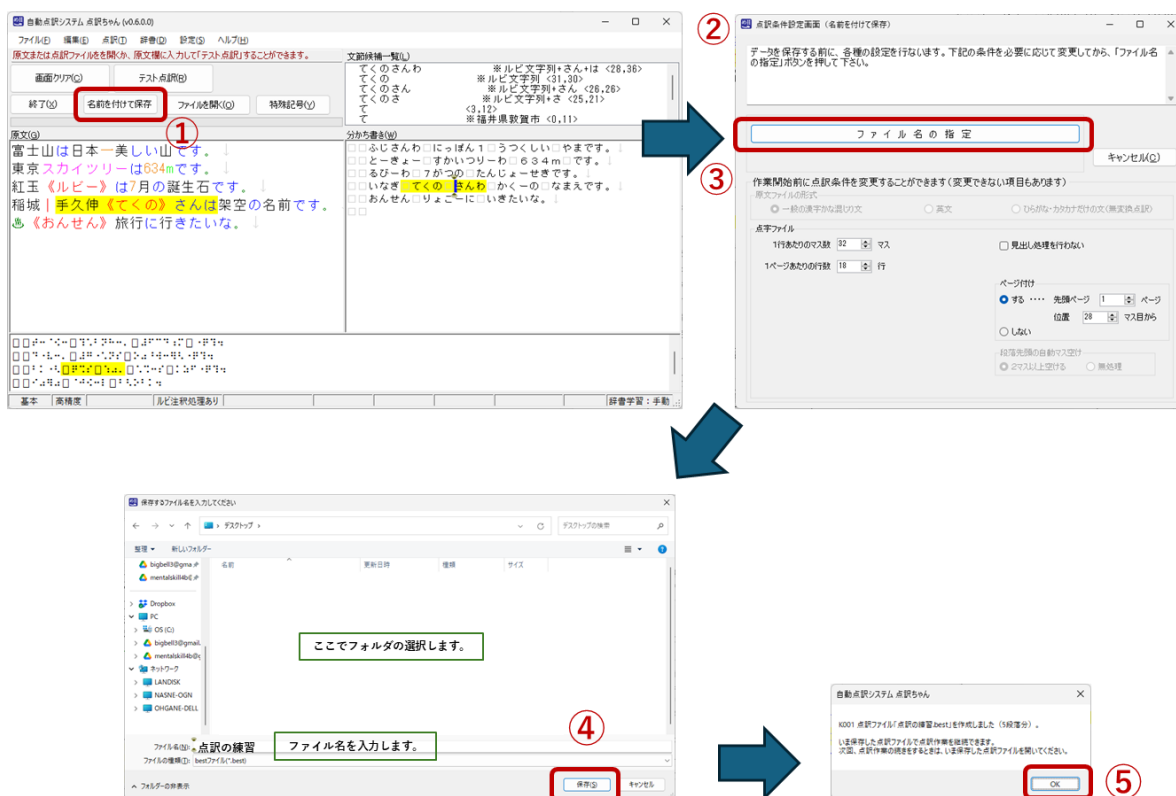


点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）に保存しよう

点字ファイル(BES/BESX)を作成するためには、一旦、点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）を作成する必要がありますので、まずは、点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）に保存しましょう。




1. 操作ボタンエリアの「名前を付けて保存」ボタンを選択します。
2. 「点訳条件設定画面（名前を付けて保存）」の画面が表示されます。
3. 「ファイル名の指定」ボタンを選択します。
4. 保存するフォルダとファイル名を入力する画面が表示されるので、保存先のフォルダの選択と、ファイル名入力して、保存ボタンを押します。
5. 保存が完了するとメッセージが表示されて画面がクリアされます。

※メニューの中の「ファイル」の中の「点訳ファイルの作成（名前を付けて保存）」のメニューでも同様に保存ができます。



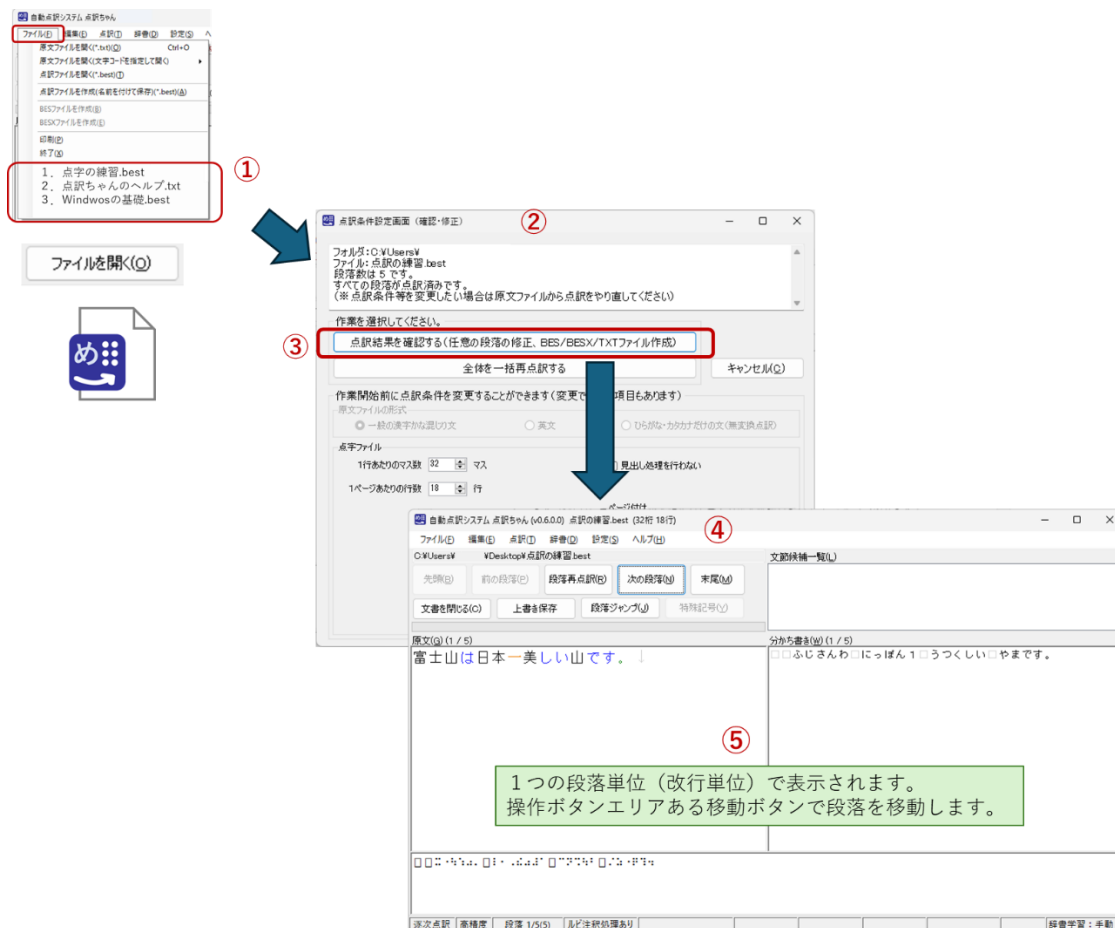
保存した点訳ファイル (BEST(ベス・ティ)ファイル) を開いて確認してみよう

1. まず、保存した点訳ファイルを指定して開く方法を確認しましょう。主に3つあります。

<p>ファイルを直接開く</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エクスプローラーで保存したフォルダ（デスクトップやドキュメント）を開きます。 2. 点訳ファイル（BEST（ベス・ティ）ファイル）をダブルクリックして開きます。 <p>※キーボードの場合は選択してエンターキーを押します。 ※マウスのドラッグ&ドロップでも開けます。</p>
<p>ファイルを開くボタンで開く</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ファイルを開く」ボタンを選択します。 2. 「開くファイルを選択してください」の画面で、フォルダとファイル名を指定します。 3. 「開く」ボタンを選択します。 <p>※BEST ファイルとテキストファイルの両方が表示されます。間違わないようにしましょう。</p>
<p>ファイル履歴一覧から開く</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. メニューの中の「ファイル」を開くと、サブメニューが表示されます。 2. サブメニューの後半部分は、これまで開いたファイルの履歴一覧が表示されています。 3. 一覧から、目的の点訳ファイル（BEST（ベス・ティ）ファイル）を選択します。 <p>※BEST ファイルとテキストファイルの両方が表示されます。間違わないようにしましょう。</p>

2. 上のいずれかの方法でファイルを開くと、「点訳条件設定画面（確認・修正）」の画面が開きます。
3. 画面の中の「点訳結果を確認する（任意の段落の修正、BES/BESX/テキストファイルの作成）」を選択します。
4. 点訳ファイルが読み込まれ、1段落目のみ（1行目のみ）が表示されていることを確認します。
5. ここで、注目していただきたいのは、テスト点訳のときの画面と異なり、点訳ファイルから読み込んだ場合は、1つの段落単位（改行ごと）に表示するということです。ここからは、1つの段落（改行まで）の単位で確認や修正をすることになります。段落の移

動は、操作ボタンエリアある移動ボタンで段落を移動します。なお、あとから説明する原文テキストファイルを読み込むときも同様です。



メモ：点訳ファイルを開いたときに、点訳が最終段落まで完了していない場合は「第〇段落から逐次点訳を続行する（第〇～〇段落の修正もできます）」と表示されます。このボタンを選択することで、点訳が完了していない段落が開いて点訳作業を再開できます。

作業を選択してください。

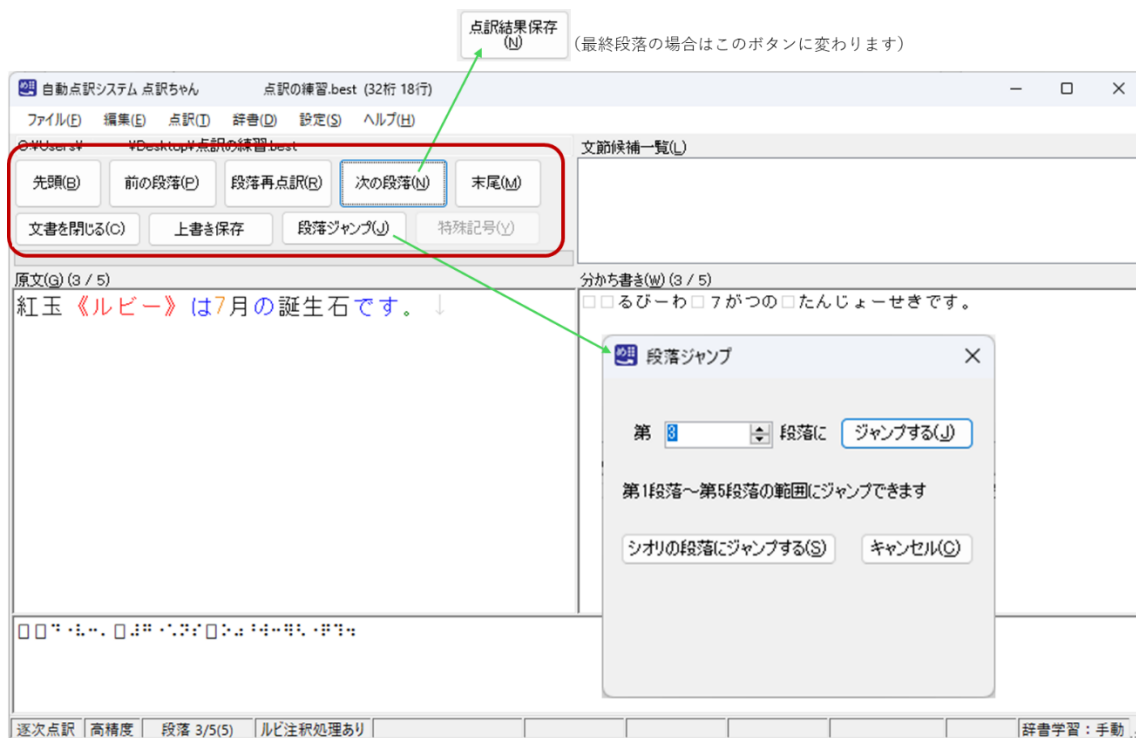
第4段落から逐次点訳を続行する(第1～3段落の修正もできます)

第4段落以降を一括点訳する

段落を移動して点訳結果を確認してみよう

操作ボタンエリアにある各ボタンで段落を移動することができます。

先頭(B)	先頭段落へジャンプします。
前の段落(P)	前の段落に移動します。
次の段落(N) (点訳結果保存)	次の段落に移動します。 末尾の段落にいる場合は、項目名が「点訳結果保存 (N)」に変わり、保存処理ができます。
段落再点訳(R)	原文エリアを修正した場合は、このボタンを選択して再点訳を行うことができます。
末尾(M)	末尾の段落に移動します。
段落ジャンプ(J)	別画面が表示されて、段落数を指定してジャンプできます。
文書閉じる(C)	文書を閉じます。(閉じる前に保存画面が出ます)
上書き保存	ファイルを上書き保存します。
特殊記号	分かち書きエリアにカーソルがあるときに、囲み符や星印などの記号を入力できます。



段落ジャンプについて

段落ジャンプボタンを利用すると、前後や先頭の末尾の段落以外に、段落番号を指定して段落を移動（ジャンプ）することができます。

しおりの設定と移動（ジャンプ）について

しおりの設定	メニューの中の「点訳」の中の「しおり設定」を選択すると現在表示されている段落にしおりを設定できます。
しおりの段落に移動（ジャンプ）	メニューの中の「点訳」の中の「しおりへジャンプ」または、段落ジャンプの画面の「しおりの段落にジャンプする」を選択すると設定したしおりの段落に移動（ジャンプ）できます。

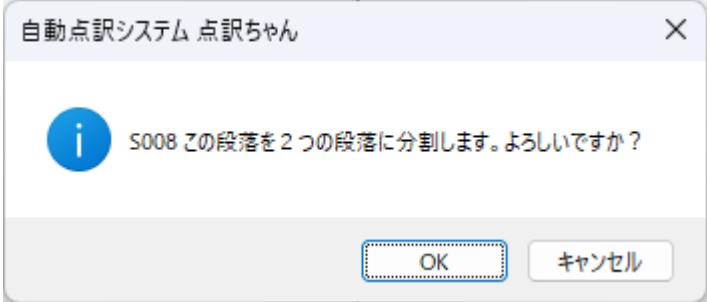
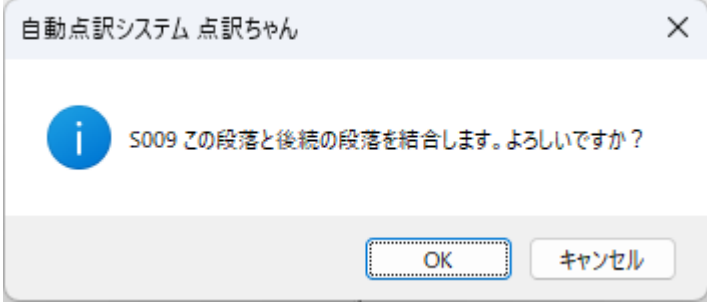


原文および分かち書きの検索について

原文 の 語句検索	メニューの中の「編集」の中の「原文検索」を選択すると、原文の語句検索画面が表示されます。または、原文エリアにカーソルがあるときに[Ctrl]+[F]を押します。
分かち書き の 語句検索	メニューの中の「編集」の中の「分かち書き検索」を選択すると、分かち書きの語句検索画面が表示されます。または、分かち書きエリアにカーソルがあるときに[Ctrl]+[F]を押します。

検索語句 げんざく ごく	「原文テキスト」または「分かち書き」から検索したい語句を入力します。
現在位置から下方へ検索	現在位置から下方向に向かって検索します。
現在位置から上方へ検索	現在位置から上方向に向かって検索します。
文書先頭から下方へ検索	文書の先頭から下方向に向かって検索します。
文書先頭から上方へ検索	文書の先頭から上方向に向かって検索します。

段落の分割と統合について

段落分割	<p>原文エリアで、エンターキーを押して改行を挿入すると、改行を挿入したところで、段落を分割することができます。分割を実行する前に確認の画面が表示されます。</p> 
段落統合	<p>原文エリアで、行末の改行マークを削除すると、段落の統合ができます。統合を実行する前に確認の画面が表示されます。</p> 

※点訳結果を修正したら「上書き保存」で保存しましょう。 または、メニューの中の「ファイル」の中の「名前を付けて保存」を選択して名前を付けて保存できます。

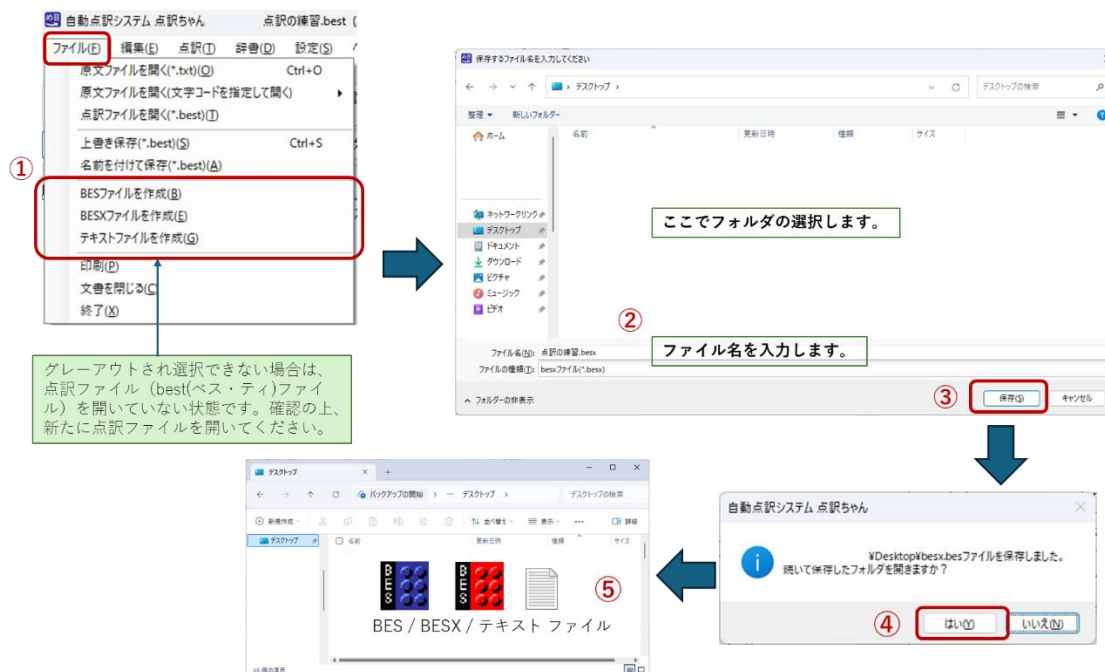


点訳ファイルから BES/BESX/テキスト ファイルを作成してみよう

点訳ファイル (BEST(ベス・ティ)ファイル) から、点字文書ファイル (BES/BESX)、または、原文であるテキストファイルを作成することができます。

1. メニューの中の「ファイル」の中の「BES ファイルを作成」「BESX ファイルを作成」「テキストファイルを作成」を選択します。
2. 名前を付けて保存の画面では、保存場所のフォルダとファイル名を入力します。
3. 保存ボタンを選択して保存します。
4. 保存したフォルダを開くかどうかの選択画面で「はい」「いいえ」を選択してください。
5. 「はい」を選択した場合は、保存した場所のフォルダが開きます。

BES ファイルを作成	点字文書 BES ファイルを作成できます。
BESX ファイルを作成	点字文書 BESX ファイルを作成します。 点字編集システムで校正作業を行う場合はこちらのファイルを選択します。
テキストファイルを作成	テキストファイル (原文テキスト) を作成できます。点訳中に原文エリアで編集した場合は編集済みのテキストが作成できます。



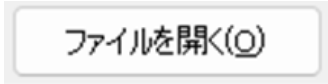

メニューを開いたとき、これらの BES/BESX/テキストの作成メニューが、グレーアウトされ選択できない場合は、点訳ファイル (BEST(ベス・ティ)ファイル) を開いていない状態です。確認の上、新たに点訳ファイルを開いてください。

原文テキストファイルを読み込んで点訳しよう

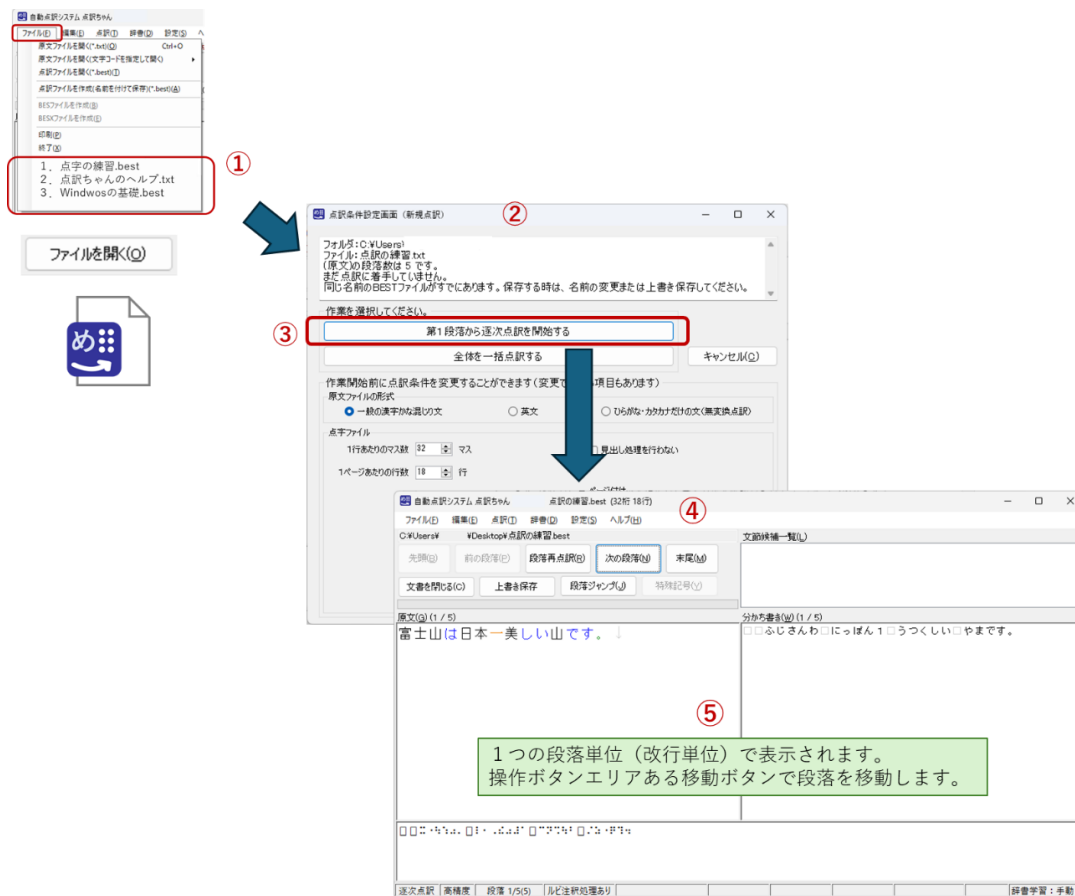
「第1段落から逐次点訳を開始する」で逐次点訳をする

点訳開始と画面表示

1. すでに原文テキスト（テキストファイル）がある場合は、テキストファイルを直接指定して開いて、一段落ずつ点訳校正したり、全体を一括点訳することができます。原文テキスト（テキストファイル）を開くには、つぎの方法があります。

<p>ファイルを開くボタンで開く</p> 	<ol style="list-style-type: none">1. 「ファイルを開く」ボタンを選択します。2. 「開くファイルを選択してください」の画面で、フォルダとファイル名を指定します。3. 「開く」ボタンを選択します。 <p>※BEST ファイルとテキストファイルの両方が表示されます。間違わないようにしましょう。</p>
<p>ドラッグ&ドロップで開く</p>	<p>点訳したいテキストファイルのアイコンを、点訳ちゃんの画面の中へドラッグ&ドロップして開きます。</p>
<p>メニューから開く</p>	<ol style="list-style-type: none">1. メニューの中の「ファイル」を選択します。2. 「原文ファイルを開く」を選択します。3. 「開くファイルを選択してください」の画面で、フォルダとファイル名を指定します。4. 「開く」ボタンを選択します。
<p>ファイル履歴一覧から開く</p> 	<ol style="list-style-type: none">1. メニューの中の「ファイル」を選択します。2. サブメニューの後半部分は、これまで開いたファイルの履歴一覧が表示されています。3. 一覧から、目的のテキストファイルを選択します。 <p>※BEST ファイルとテキストファイルの両方が表示されます。間違わないようにしましょう。</p>

2. 「点訳条件設定画面（新規点訳）」の画面が開きます。
3. 画面の中の「第1段落から逐次点訳を開始する」を選択します。
4. 点訳ファイルが読み込まれ、1段落目のみ（1行目のみ）を表示します。
5. 1段落目のテキストが表示されるとともに点訳を開始しますので点訳が完了するのを待ちます。



作業を選択してください。

第1段落から逐次点訳を開始する

全体を一括点訳する

第1段落の点訳結果の確認と修正（校正作業）をします

原文エリアと分かち書きエリアを見ながら、まちがった点訳になっていないか、エラーが無いか確認し、必要に応じて修正を行っていきます。原文エリアの修正を行った場合は「段落再点訳」ボタンを選択して再度点訳をし直します。詳細については、前章の下記の項目を参照してください。

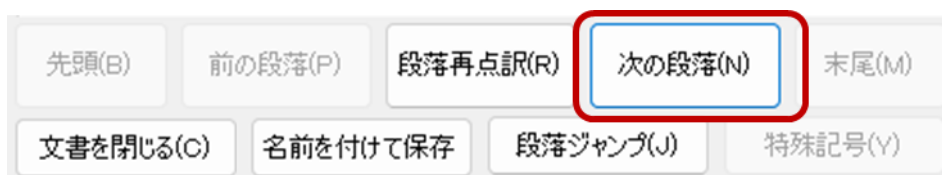
- [各エリアでカーソル移動してみよう](#)
- [文節候補一覧で修正してみよう。](#)
- [原文エリアで修正してみよう。](#)
- [分かち書きエリアで修正してみよう。](#)

第 2 段落次の段落へ移動して点訳および確認と修正を行います

第 1 段落の点訳と確認修正（校正）が終わったら、「次の段落」を選択して、次の段落に移動します。

すると第 2 段落の原文テキストが表示されるとともに点訳を開始します。

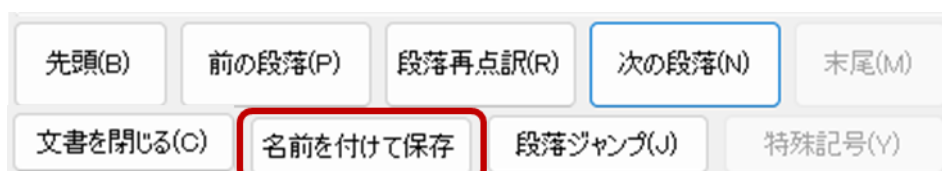
点訳処理後に、原文エリアと分かち書きエリアを見ながら、まちがった点訳になっていないか、エラーが無い確認し、必要に応じて修正を行っていきます。



第 3 段落以降、順次移動して最終段落まで点訳および確認と修正を行います

第 2 段落の確認と修正が終わったら「次の段落」を選択してつぎの段落へ移動して、確認の修正を行います。この作業を最後の段落まで繰り返します。

なお、点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）への保存は、途中の段落でも行えます。都合の良いタイミングで「名前を付けて保存」ボタンを選択して点訳ファイルに保存しましょう。



段落の移動や検索についての詳細については、下記の項目を参照してください。

[段落を移動して点訳結果を確認してみよう](#)

[段落ジャンプについて](#)

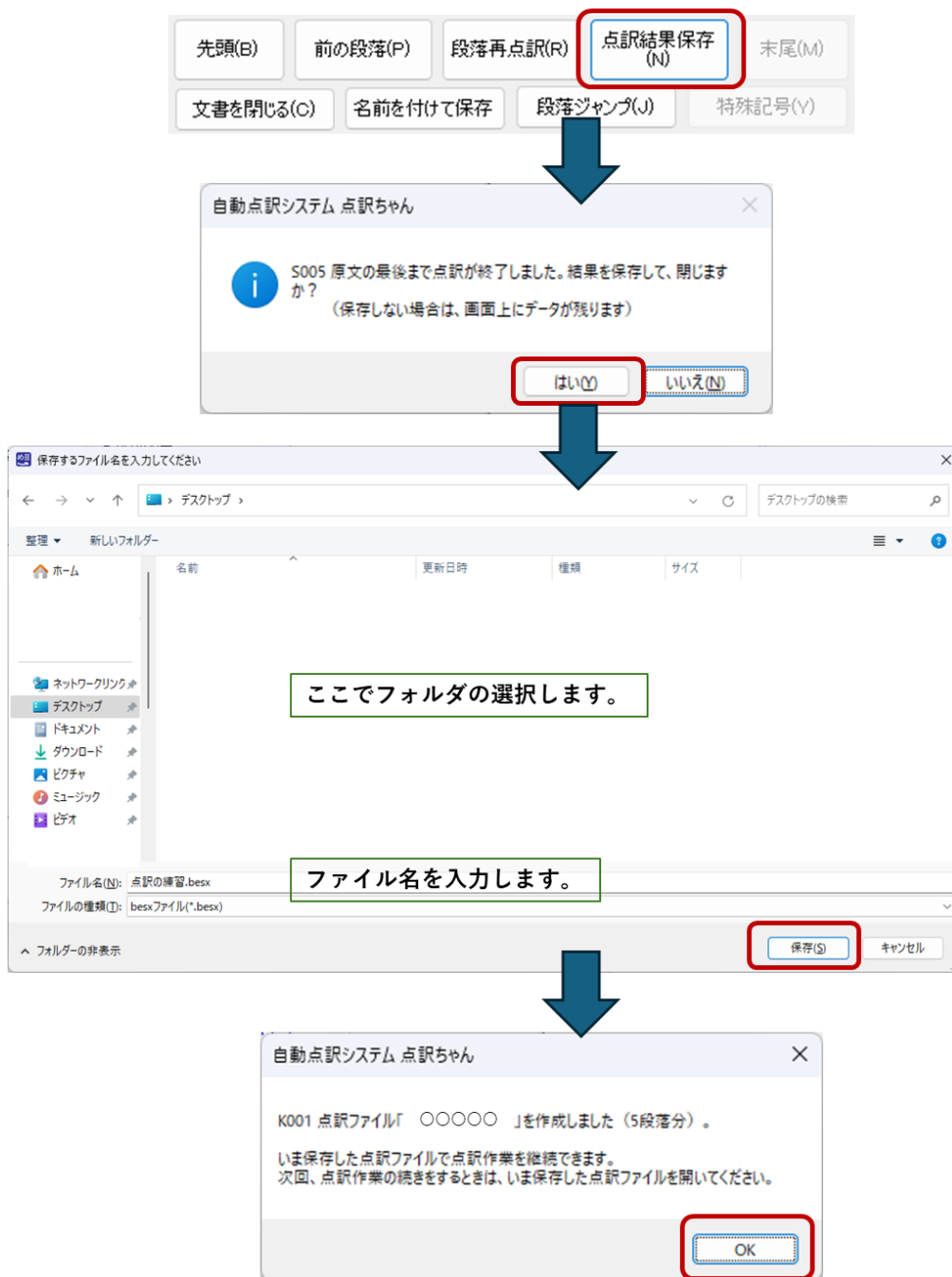
[しおりの設定と移動（ジャンプ）について](#)

[原文および分かち書きの検索について](#)

点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）に保存

最後の段落に移動すると、「次の段落」ボタンは「点訳結果保存」ボタンに変わります。このボタンを押して、点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）に保存します。

逐次点訳を途中でやめたい場合は、「名前を付けて保存」ボタンや「上書き保存」ボタンを選択して点訳ファイルに保存します。



保存した点訳ファイル (BEST(ベス・ティ)ファイル) を開いて、確認・修正、点字ファイルの作成等を行うには、前の章の下記の部分参照してください。

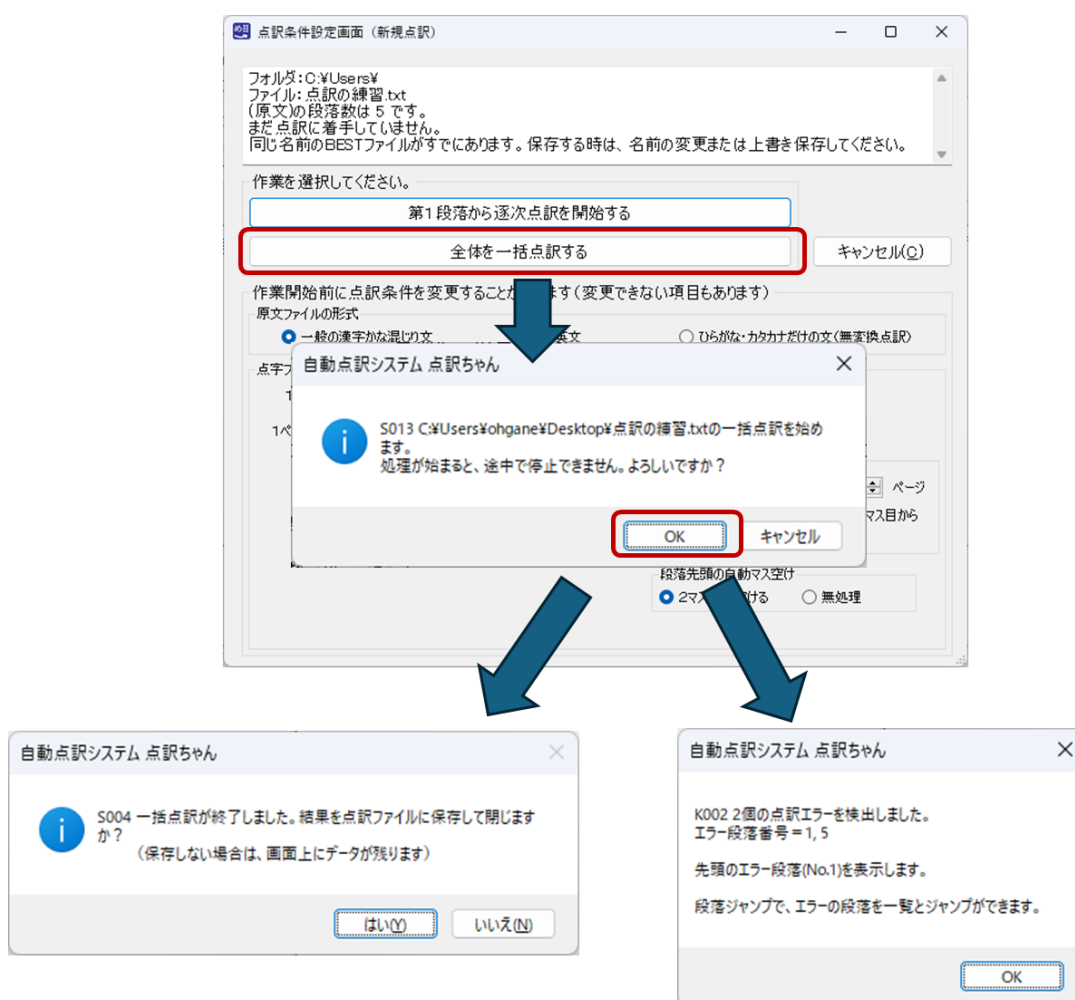
- [保存した点訳ファイル \(BEST\(ベス・ティ\)ファイル\) を開いて確認してみよう。](#)
- [点訳ファイルから BES/BESX/テキスト ファイルを作成してみよう。](#)

「全体を一括点訳する」で一括点訳してあとから確認と修正をする

一括点訳を開始して点訳が終了するのを待ちます

全体を一括点訳するボタンを選択すると、一括点訳が開始しますが、その前に、途中で処理が止められない旨のメッセージが表示されるので、問題なければ「OK」ボタンを押して、一括点訳を開始します。

点訳が完了するまで待ちます。(点訳処理中は、進捗状況表示バーで状況が表示されます) 点訳が最後まで終了すると、点訳結果に応じて、メッセージが表示されます。



一括点訳終了後点訳エラーが無い場合はそのまま保存します

「一括点訳が終了しました。結果を点訳ファイルに保存して閉じますか？」というメッセージが表示されるので「はい」を選択します。

保存するフォルダとファイル名を入力する画面が表示されるので、保存先のフォルダの選択と、ファイル名を入力して、保存ボタンを押します。これで、点訳ファイル（BEST(ベス・ティ) ファイル）が保存できます。



点訳ファイルを開いて確認と修正（校正）を行いましょう

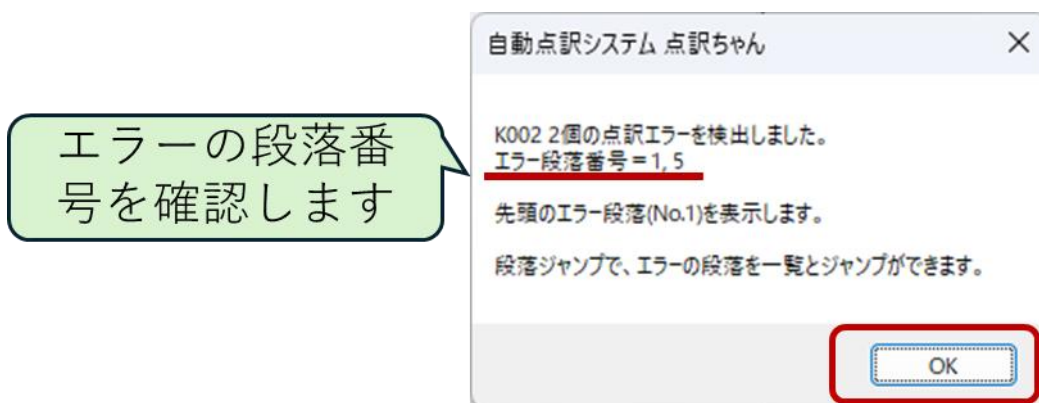
点訳エラーが無い場合でも、間違った点訳が含まれていますので、点訳ファイルを、再び開

いて、必ず確認と修正の作業（校正作業）を行ってください。詳細については、前章の下記の項目を参照してください。

- [保存した点訳ファイル（BEST\(ベス・ティ\)ファイル）を開いて確認してみよう。](#)
- [段落を移動して点訳結果を確認してみよう。](#)
- [各エリアでカーソル移動してみよう](#)
- [文節候補一覧で修正してみよう。](#)
- [原文エリアで修正してみよう。](#)
- [分かち書きエリアで修正してみよう。](#)
- [点訳ファイルから BES/BESX/テキスト ファイルを作成してみよう。](#)

一括点訳終了後点訳エラーがある場合は、点訳エラーを確認して修正します

「○個の点訳エラーを検出しました。エラー段落番号=○○○ 先頭のエラー段落(No○)を表示します。段落ジャンプで、エラーの段落の一覧とジャンプができます。」というメッセージが表示されますので「OK」ボタンを選択します。

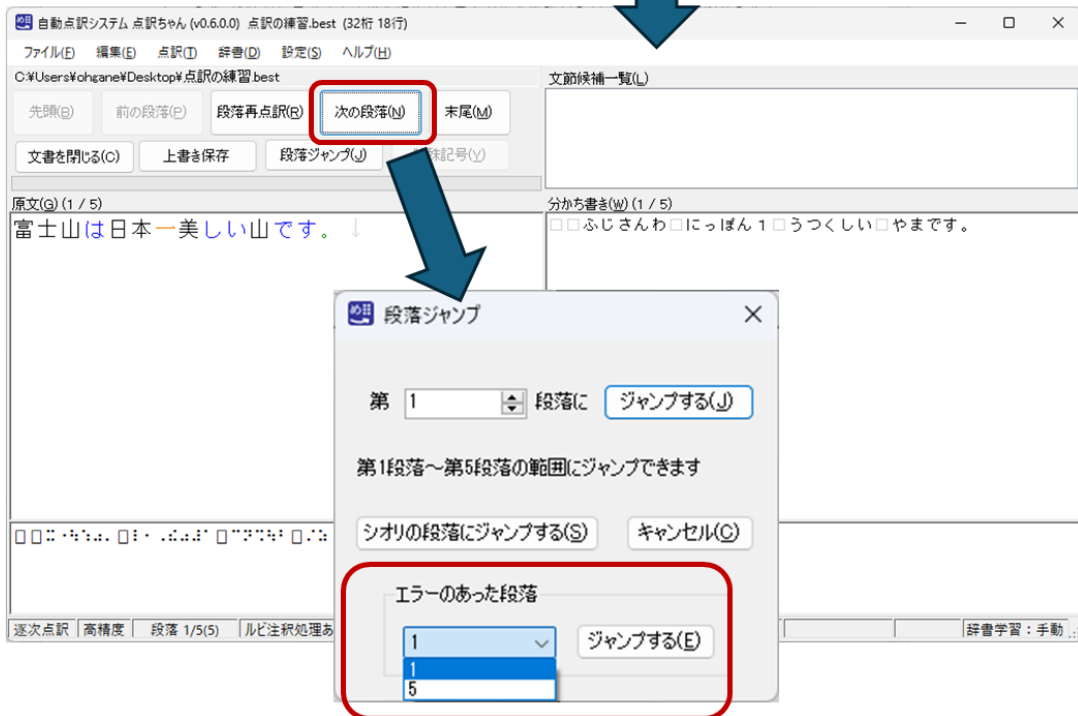
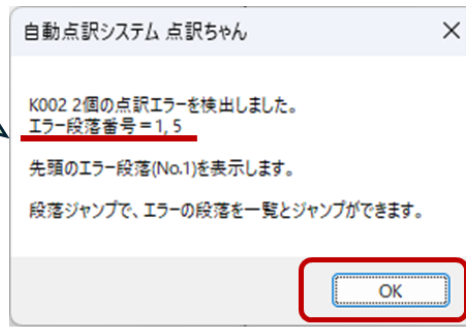


エラーが発生した段落に移動して確認と修正を行います

操作ボタンエリアの「段落ジャンプ」を選択すると、エラーのある段落へ簡単にジャンプすることができます。

エラーのある段落へ順次移動して、エラーを修正します。この場合のエラーは、原文に点訳不能な文字や記号などが含まれていることが原因ですので、該当する点訳不能な文字や記号について、別の文字へ修正するカルビを指定するなどの修正が必要になります。

エラーの段落番号を確認します



エラーが含まれている場合も、いったんファイルに保存することができます。名前を付けて「保存」ボタンや「上書き保存」ボタンを選択して点訳ファイルに保存します。保存した点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）を開くには、前の章の「保存した点訳ファイル（BEST(ベス・ティ)ファイル）を開いて確認してみよう。」を参照してください。

本格的に点訳作業を始めましょう

作業の流れ

点字文書ファイルを作成するための作業の流れは次のようになります

1. 著作権について十分に理解しましょう
2. 原文テキストファイルを準備します
3. 事前に原文テキストファイルを整えます
4. 原文テキストを整えたら点訳作業を進めましょう
 - (ア) 逐次点訳
 - (イ) 一括点訳
5. 確認と修正を行います **(※必ず行いましょう)**
6. 点字文書ファイル作成
7. 点字文書ファイル作成後に確認と修正を行います **(※必ず行いましょう)**

※間違った点訳結果が含まれる場合があります。上記の4番作業（点訳中）および、6番作業（点字ファイルにした後）で、必ず確認と修正（校正作業）を行いましょう。

原文テキストファイルを準備します

著作権について十分に理解しよう

著作権法上、著作物を無断で複製することは一般的には著作権侵害とされていますが、視覚障害者支援のために点訳することは、例外措置として認められていて、著作権者の許諾を得ずに点字で複製することが許容されています。

ただし、著作物をテキスト化するなど、電子データ化する場合は、点字図書館、学校図書館、大学図書館、国会図書館、文化庁長官が指定する団体などに限られています。これ以外の団体の点字図書館等が関与していない、ボランティア団体等が、著作物を電子データ化する場合は、事前にすべての著作権者へ許諾を得なければなりませんので、**著作権法に違反しないよう十分注意が必要です。**なお、私的利用にあたる場合はその限りではありません。

テキストファイルを準備しよう

点訳ちゃんは、ワードファイルや PDF ファイルを直接読み込むことはできませんので、それらのファイルをテキストファイルにする必要があります。テキストファイルにする主な手順は次の通りです。





Microsoft Word で作成したファイルからテキストファイルを作成する。	<ol style="list-style-type: none">1. テキストファイルにしたいワード文書を開きます。2. メニューの中の「ファイル」の中の「名前を付けて保存」を選択します。3. 保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力します。4. ファイル形式指定「書式なし (*.txt)」を選択します。5. 保存ボタンを選択してテキストファイルを保存します。
Adobe Acrobat Reader で読み込める PDF ファイルからテキストファイルを作成する。	<ol style="list-style-type: none">1. テキストファイルしたい PDF を開きます。2. メニューの「テキストとして保存」を選択します。3. 保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力します。4. 保存ボタンを選択してテキストファイルを保存します。 (保存が許可されていない PDF の場合は保存できません)
メモ帳に貼り付けてテキストファイルを作成する。	<p>テキストファイルに保存する機能がないアプリケーションでも、コピー&ペーストクリップボード経由で、メモ帳に貼り付けてテキストファイルを作成できる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. テキストファイルに保存する機能がないアプリケーションの編集画面で、テキストファイルにしたい部分をマウスやキーボードで選択状態にします。2. そのアプリケーションのメニューの中の「編集」の中の「コピー」を選択してクリップボードにコピーします。(※アプリケーションによってメニュー構成が違う場合があります)3. メモ帳を起動します。4. メモ帳の中のメニューの中の「編集」の中の「貼り付け」を選択してメモ帳に貼り付けます。5. 目的のテキストがメモ帳に張り付いていることを確認します。(※アプリケーションによっては、コピーできない場合やレイアウトが崩れたりする場合があります)6. メモ帳の中のメニューの中の「ファイル」の中の「名前を付けて保存」を選択してテキストファイルとして保存します。

原文テキストファイルを整理しておきましょう

準備した原文テキストを、事前に可能な範囲で整理しておく、スムーズで効率的に点訳作業と校正作業を行うことができます。次のような項目に気を付けて整理していきましょう。





不要な空行は削除しておきましょう

テキストファイルを作成すると、段落の区切りなどで空行が挿入されていることがあります。事前に不要な空行を削除しておく、スムーズな点訳校正作業につながります。

整える前	<p>自動点訳システム 点訳ちゃんについて</p> <p>このソフトウェアについて</p> <p>このソフトウェアは、原文テキストファイルを自動点訳して点字ファイルを作成するソフトウェアです。</p> <p>校正作業は必要です 自動点訳しても、間違って点訳される可能性があるので、必ず校正作業（確認と修正）が必要です。</p> <p>固有名詞などについて 固有名詞には事前にルビを振っておくことができます。また、心外無別法といった難しい読みや、 といった絵文字についてもルビを振ることができます。</p> <p>下記はテスト点訳の例です。</p> <p>紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。  旅行に行きたいな。</p>
整えた後	<p>自動点訳システム 点訳ちゃんについて</p> <p>このソフトウェアについて</p> <p>このソフトウェアは、原文テキストファイルを自動点訳して点字ファイルを作成するソフトウェアです。</p> <p>校正作業は必要です 自動点訳しても、間違って点訳される可能性があるので、必ず校正作業（確認と修正）が必要です。</p> <p>固有名詞などについて 固有名詞には事前にルビを振っておくことができます。また、心外無別法といった難しい読みや、 といった絵文字についてもルビを振ることができます。</p> <p>下記はテスト点訳の例です。</p> <p>紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。  旅行に行きたいな。</p>

見出しは空白を入れて字下げしておきましょう

見出しにあたる部分は、点字のルールにしがって、行頭に空白を入れて、4マス空けや6マス空けにしておきましょう。4マス空けや6マス空けにした段落は、点字ファイルにする段階で、見出し用に行頭マス空けされます。





<p>整える前</p>	<p>自動点訳システム 点訳ちゃんについて このソフトウェアについて このソフトウェアは、原文テキストファイルを自動点訳して点字ファイルを作成するソフトウェアです。 校正作業は必要です 自動点訳しても、間違っ点訳される可能性があるため、必ず校正作業（確認と修正）が必要です。 固有名詞などについて 固有名詞には事前にルビを振っておくことができます。また、心外無別法といった難しい読みや、といった絵文字についてもルビを振ることができます。 下記はテスト点訳の例です。 紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。 旅行に行きたいな。</p>
<p>整えた後</p>	<p>□□□□□自動点訳システム 点訳ちゃんについて □□□□このソフトウェアについて このソフトウェアは、原文テキストファイルを自動点訳して点字ファイルを作成するソフトウェアです。 □□□□校正作業は必要です 自動点訳しても、間違っ点訳される可能性があるため、必ず校正作業（確認と修正）が必要です。 □□□□固有名詞などについて 固有名詞には事前にルビを振っておくことができます。また、心外無別法といった難しい読みや、といった絵文字についてもルビを振ることができます。 □□□□下記はテスト点訳の例です。 紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。 旅行に行きたいな。</p>

(※便宜上空白を「□」で表示しています)

固有名詞など事前にルビ（よみ）を指定しておきましょう

固有名詞などで、漢字や記号の読み方が事前に分かっている場合は、その単語にルビ（読み方）を指定することで、正しい点訳をすることができます。

ルビの指定は、対象となる単語の後ろに「二重山カッコ」の「《》と「」」で囲んで指定します。対象となる単語の前の文字が漢字の場合は、全角の縦棒記号の「|」を区切りとして挿入しておきます。

<p>整える前</p>	<p>□□□□□自動点訳システム 点訳ちゃんについて □□□□このソフトウェアについて このソフトウェアは、原文テキストファイルを自動点訳して点字ファイルを作成するソフトウェアです。 □□□□校正作業は必要です 自動点訳しても、間違っ点訳される可能性があるため、必ず校正作業（確認と修正）が必要です。 □□□□固有名詞などについて 固有名詞には事前にルビを振っておくことができます。また、心外無別法といった難しい読みや、といった絵文字についてもルビを振ることができます。 □□□□下記はテスト点訳の例です。 紅玉は7月の誕生石です。 稲城手久伸さんは架空の名前です。 旅行に行きたいな。</p>
<p>整えた後</p>	<p>□□□□□自動点訳システム 点訳ちゃんについて □□□□このソフトウェアについて このソフトウェアは、原文テキストファイルを自動点訳して点字ファイルを作成するソフトウェアです。 □□□□校正作業は必要です 自動点訳しても、間違っ点訳される可能性があるため、必ず校正作業（確認と修正）が必要です。 □□□□固有名詞などについて 固有名詞には事前にルビを振っておくことができます。また、心外無別法《しんげ むべっぽう》といった難しい読みや、《おんせんまーく》といった絵文字についてもルビを振ることができます。 □□□□下記はテスト点訳の例です。 紅玉《るびー》は7月の誕生石です。 稲城 手久伸《てくの》さんは架空の名前です。 《おんせん》旅行に行きたいな。</p>

(※便宜上空白を「□」で表示しています)

囲み符は対応するカッコ記号に置き換えて整えておきましょう

次の表の通り、カッコ記号を対応する点字の囲み符に変換します。原文のままでは、必ずしも正しい囲み符とならないため、事前に適切なカッコ記号に置き換えてください。

原文			分かち書き		点字表記
開き	閉じ	記号名	開き	閉じ	
「	」	カギカッコ	「	」	第1カギ
<	>	不等号	<	>	第2カギ
〈	〉	山カッコ			
‘	’	引用符			
“	”	二重引用符			
『	』	二重カギカッコ	『	』	二重カギ
()	マルカッコ	()	第1カッコ
{	}	波カッコ	{	}	第2カッコ
【	】	すみ付きカッコ			
≪	≫	不等号 (※非常に小さい大きい)			
(())	マルカッコ	(())	点訳者挿入符
((□	□))	マルカッコ	((□	□))	第1段落挿入符
≪□	□≫	不等号 (※非常に小さい大きい)	≪□	□≫	第2段落挿入符
なし			・「	」、	第1指示符
なし			・「_	_」、	第2指示符
なし			『_	_』	第3指示符
[[]]	角カッコ	[]	番号付注記符号
なし			{	}	外国語引用符
なし			〈	〉	情報処理用引用符 (アドレス囲み符)
[]	角カッコ	点訳されません		原文注釈
《	》	二重山カッコ	点訳されません		ルビ (よみがな)

第1指示符、第2指示符、第3指示符、外国語引用符、情報処理用引用符(アドレス囲み符)は、原文テキストでは利用できません。点訳後に「分かち書き」エリアで、追加修正を行います。

星印関連の記号は事前に対応する記号文字に置き換えておきましょう

記号文字	記号名	点字の表記
☆	(白星)	第1星印 (前後は1マス空け)
★	(黒星)	第2星印 (前後は1マス空け)
▼	(黒逆三角)	第3星印 (前後は1マス空け)
※	(コメ印)	文中注記符 (前後のマス空けなし)
○	(白丸印)	伏せ字の○ (前後は1マス空け)
△	(白三角)	伏せ字の△ (前後は1マス空け)
□	(正方形記号)	伏せ字の□ (前後は1マス空け)
×	(乗算記号)	伏せ字の× (前後は1マス空け)
●	(黒丸印)	その他の伏せ字 (前後は1マス空け)

なお、上記以外でも、記号を星印に変換できる場合があります。(ただし、文脈などの状況によって異なりますので、文節候補一覧から選択する必要がありますのでご注意ください)

記号文字	記号名	点字の表記
† ‡	ダガー	文中注記符 (前後のマス空けなし)
¶	パラグラフ	文中注記符 (前後のマス空けなし)
○ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ = *	丸、正方形、三角 形、アスタリスク など	第1星印 (前後は1マス空け)

注釈の埋め込みについて

原文テキストに、全角の角カッコ ([]) で囲まれている部分がある場合は、原文テキストの注釈として解釈するので、その部分は点訳されません。 原文の内容として全角の角カッコが利用されている場合は、適切な囲み符記号にあらかじめ変更してください。

なお、全角の角カッコが多用されている場合は、設定変更で、注釈とは解釈せずに、角カッコを第2囲み符として中身を点訳することもできます。メニューの中の「設定」の中の「環境設定」で画面を開き、「点訳条件」タブの「全角の角カッコ ([]) 注釈扱いとして点訳しない」のチェックを外し、OK ボタンを押します。

現時点で利用可能な注釈コマンドについて

注釈の中に次のような文字列を入れると、改ページコマンドとして機能します。この場合、点字文書を作成したときに、改ページコードを挿入できます。この改ページコマンドは、段落の末尾に記述してください。段落の途中で記述すると、改ページコマンド以降のテキストは点訳されません。なお、テキストファイルに改ページコード (0x0C)が入っている場合も、改ページとして処理されます。

[改頁]	[改ページ]	[改丁]
[# 改頁]	[# 改ページ]	[# 改丁]
[# 改頁]	[# 改ページ]	[# 改丁]

なお、下記の注釈コマンドは、現時点で利用できず、単に「注釈」として解釈され、コマンドの機能は実行されませんのでご注意ください。

[字下げ]	[右寄せ]	[右詰め]
[# 字下げ]	[# 右寄せ]	[# 右詰め]
[# 字下げ]	[# 右寄せ]	[# 右詰め]
[字下]	[右寄]	[右詰]
[# 字下]	[# 右寄]	[# 右詰]
	[# 右寄]	[# 右詰]

原文テキストを整えたら点訳作業を進めましょう

原文テキストを整えたら原文テキストファイルを開いて、点訳作業を進めましょう。

原文テキストファイルの開き方の詳細は「[原文テキストファイルを読み込んで点訳しよう](#)」を参照してください。次のような方法でテキストファイルを指定して開きます。

点訳条件の設定をしましょう。

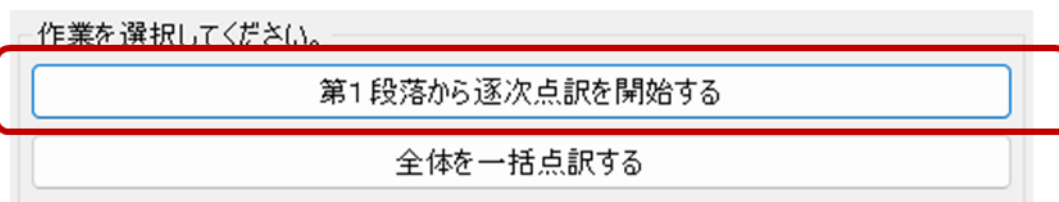
原文テキストファイルを開くと、「点訳条件設定画面（新規点訳）」の画面が開きます。この画面では、「逐次点訳するか一括点訳するか」の選択をします。また、通常は、初期値のままを進めますが、必要に応じて下記のような設定を変更して点訳を開始できます。

作業を選択してください	逐次点訳 ：段落ずつ点訳校正するときに選択します。 一括点訳 ：全体を一括して点訳しあとで校正するときに選択します。
原文ファイル形式	一般の漢字かな混じりの文 ： 通常漢字かな混じりの文の場合に選択します。 英文 ：英文のみの場合に選択します。 ひらがなカタカナだけの文（無変換点訳） ： ひらがなカタカナだけの場合に選択します。
点字ファイル	1行あたりのマス数（※） ： 初期値は 32 マスです。 (通常は 32 マスのままで構いません。) 1ページ当たりの行数（※） ： 初期値は 18 行です。 両面印刷（インターライン）の場合は 18 行です。 片面印刷やの場合は 22 行を指定します。 見出し処理を行わない（※） ： 原文テキストの行頭を 4 マス、6 マスあけ等を行ったときに、その段落（見出し）が複数行にまたがる場合に、行頭マスあけ処理を行うかどうか指定します。 ページ付け（※） ： ページ行のページ番号付加を「する」「しない」を指定します。 指定する場合は「開始番号」と「位置」を指定します。 段落先頭の自動マスあけ ： 段落先頭の 2 マス空けと、原文の記述に応じたマスあけ（見出し処理）を行うかどうかを指定できます。

(※印は、あとから変更ができます)

(ア) 逐次点訳で点訳作業を進める場合

「点訳条件設定画面（新規点訳）」の画面で「第1段落から逐次点訳を開始する」を選択して、逐次点訳を開始します。

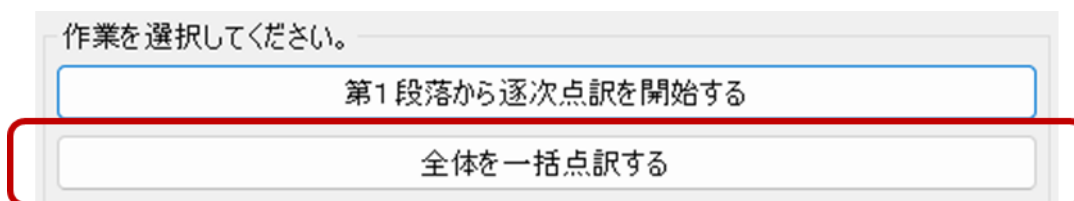


逐次点訳の詳細については、[「第1段落から逐次点訳を開始する」で逐次点訳をする](#) を参照してください。また、下記の項目も必要に応じて参照してください。

また、点訳ファイル (BEST(ベス・ティ)ファイル) に保存するには、[「点訳ファイル \(BEST\(ベス・ティ\)ファイル\) に保存しよう」](#) を参照してください。

(イ) 一括点訳で点訳作業を進める場合

「点訳条件設定画面（新規点訳）」の画面で「全体を一括点訳する」を選択して、逐次点訳を開始します。



一括点訳の詳細については、[「全体を一括点訳する」で一括点訳してあとから確認と修正をする](#) を参照してください。

また、点訳ファイル (BEST(ベス・ティ)ファイル) に保存するには、[「点訳ファイル \(BEST\(ベス・ティ\)ファイル\) に保存しよう」](#) を参照してください。

確認と修正（校正作業）を行います（※必ず行いましょう）

逐次点訳や一括点訳いずれの場合も、間違った点訳結果が含まれる場合があります。必ず確認と修正（校正作業）を行いましょう。

確認と修正（校正作業）の詳細については、前章の下記の項目を参照してください。

- [各エリアでカーソル移動してみよう](#)
- [文節候補一覧で修正してみよう。](#)
- [原文エリアで修正してみよう。](#)
- [分かち書きエリアで修正してみよう。](#)

分かち書きエリアにおける特殊記号の入力について

分かち書きエリアにカーソルを移動すると、特殊記号ボタンが利用できます。選択すると「特殊記号入力パネル」が表示されます。このパネルでは、分かち書きエリアで、記記号類を入力することができます。



点字文書ファイル作成

確認と修正（校正作業）が終わったら、点字文書ファイルの作成をしましょう。点字文書ファイルの作成の詳細については、前章の下記の項目を参照してください。

- [点訳ファイル（BEST\(ベス・ティ\)ファイル）に保存しよう](#)
- [保存した点訳ファイル（BEST\(ベス・ティ\)ファイル）を開いて確認してみよう。](#)
- [点訳ファイルから BES/BESX/テキスト ファイルを作成してみよう。](#)

点字文書ファイル作成後に確認と修正を行います（※必ず行いましょう）

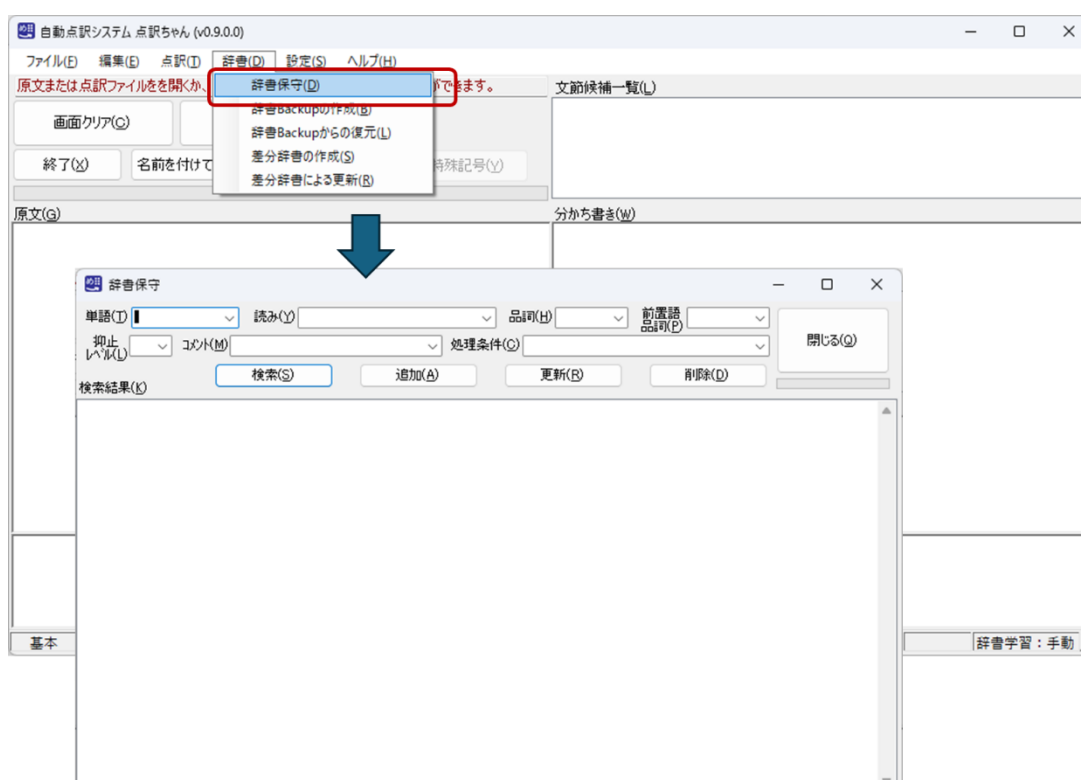
逐次点訳や一括点訳いずれの場合も、間違った点訳結果が含まれる場合があります。必ず確認と修正（校正作業）を行きましょう。さらに、点字文書ファイルを作成したあとも、必ず点字編集システムなどを使って、確認と修正（校正作業）を行きましょう。点字編集システムの製作支援機能を利用すれば、画面上で、下調べ記録の追加、校正記録の追加、校正検証、修正、修正検証の記録を付けながら、校正作業を行うことができます。

辞書登録するには。

辞書に無い言葉が原文テキストにある場合、正しく点訳されない場合があります。正しく点訳できるように、辞書登録することができます。

辞書保守画面を開く

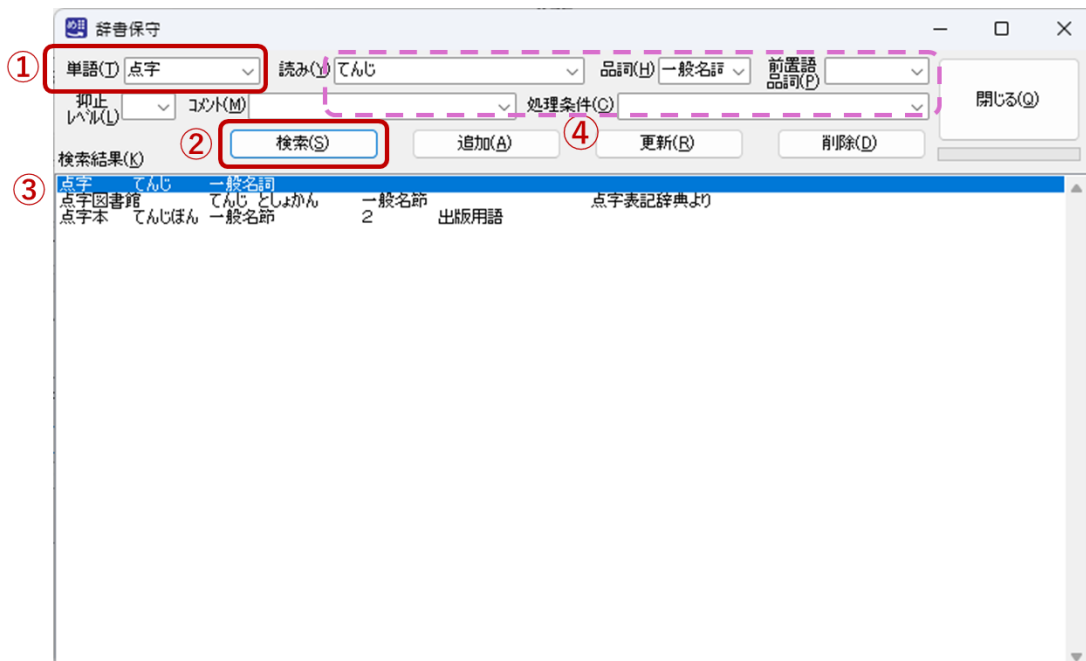
メニューの中の「辞書」の中の「辞書保守」を選択して、辞書保守の画面を開きます。



単語を検索するには

辞書の中に単語が登録されているか確認するには、検索機能を使います。

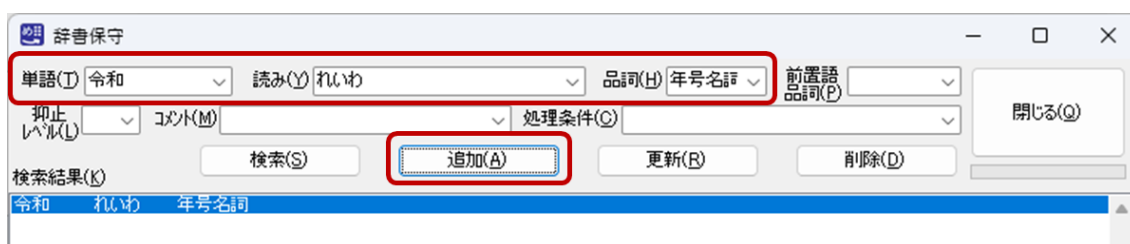
1. 「単語」の欄に移動して検索したい単語を入力します。
2. 「検索」ボタンを押します。
3. 単語が登録されている場合は「検索結果」の一覧に表示されます。
4. 検索結果の一覧から選択すると「読み」「品詞」「前置語品詞」「抑制レベル」「コメント」「処理条件」の各項目にも表示されます。



単語を追加するには

新しい単語を登録するには、下記の必須の項目を入力して、「追加」ボタンを押します。

単語	登録したい単語を入力します。 漢字、かな、記号等が入力できます。
読み	単語の読みを入力します。 点字に表記表に従って、読みを入力します。なお、読みは、ひがらな、全角英文字、全角記号（一部のみ）が登録可能です。全角記号は、分かち書きエリアで点字に直接変換できる記号のみ入力できます。
品詞	リストの中から、適切な品詞を選択します。 適切な品詞が分からない場合はひとまず「一般名詞」で登録します。



なお、次の各項目の入力は必須ではありませんので、必要に応じて入力します。

抑制レベル	同一の単語を違う読みなどで登録する場合に、「抑止レベル」を設定することで、文節候補一覧で表示する優先度を設定できます。この欄に入力できる文字1～9～A～Zで、大きい数字、後ろのアルファベットにするほど、抑制されて優先度が低くなります。
コメント	メモ欄です。全角文字で入力します。とくに必要な場合だけ入力します。
前置語品詞	(本バージョンでは、登録は未対応です)
処理条件	(本バージョンでは、登録は未対応です)

登録済みの単語の抑制レベルやコメントを変更するには

1. 「単語」の欄に移動して検索したい単語を入力します。
 2. 「検索」ボタンを押します。
 3. 単語が登録されている場合は「検索結果」の一覧に表示されます。
 4. 検索結果の一覧から更新したい項目を選択します。
 5. 抑制レベルやコメントの内容を変更します。
 6. 「更新」ボタンを押して更新します。
- ※この時、単語、読み、品詞等を変更すると、更新でなく追加処理となります。

登録済みの単語を削除するには

1. 「単語」の欄に移動して検索したい単語を入力します。
2. 「検索」ボタンを押します。
3. 単語が登録されている場合は「検索結果」の一覧に表示されます。
4. 検索結果の一覧から削除したい項目を選択します。
5. 「削除」ボタンを押します。
6. 確認画面が表示されるので「はい」を選択します。

墨字印刷について

ファイルの中の「印刷」を選択すると、校正用として、原文テキスト、分かち書き、点字イメージを墨字印刷することができます。

印刷するリストの種類

どのように印刷するかを下記の項目から選択できます。

六点イメージリスト	点字のイメージを墨字印刷します。
分かち書きと六点の併記リスト	点字のイメージと、分かち書き併記して印刷します。
原文と分かち書きの対比リスト	原文と分かち書きを対比して印刷します。
原文のリスト	原文のみを印刷します。
分かち書きのリスト	分かち書きのみを印刷します。

印刷プレビューと印刷

印刷プレビューボタン	どのように印刷できるか画面でプレビューできます。
印刷ボタン	印刷を開始します。プリンター選択画面が表示されるので印刷したいプリンターを選択して OK ボタンを押します。

その他

- 「印刷の対象となる文書」については、現在作業中で開いている文書のみ選択できません。
- 縮小印刷や両面印刷等についてはプリンターのマニュアルをご参照ください。
- 印刷プレビューでの表示と実際の印刷では、レイアウトや色などについて、誤差が生じる場合があります。

各種設定やメニューについて

環境設定

メニューの中の「設定」の中の「環境設定」で、動作設定を行うことができます。

点訳設定

原文ファイル（初期値）	点訳条件設定画面で、原文ファイルの形式の初期値を設定します。
原文の改行の扱い	原文の改行の扱いを変更します。 手を加えない ：改行の処理は行いません。 明らかな段落替え以外は無視する ：整形のための改行を無視します。 句点とピリオドの直後の改行は無視しない ：句点とピリオドの直後にある改行は無視しないようにします。 空白は無視しない ：空白後の改行を無視しないようにします。
英文字の扱い	英文字の取り扱いを変更します。 自動 ：英数字列または英文として扱うことを自動で判断します。 英数字列を優先 ：英文字について英文字として扱う（外文字を付加）ことを優先します。 英文を優先 ：英文字について英文扱う（外国語引用符を不可）ことを優先します。
情報処理用点字を使用する	チェックありにすると、情報処理用引用符（アドレス囲み符）での表記を、文節候補一覧に追加します。
と《》によるルビ処理を行う	チェックありにすると、縦棒と二重山カッコで、ルビの処理を行います。
ルビを最優先にする	チェックありにすると、ルビの表記が最優先で、文節候補一覧に表示されます。
全角の角カッコ（[]）は注釈扱いとして点訳しない	チェックありにすると、全角の角カッコは、注釈として扱い、囲まれた部分は点訳の対象となりません。

点字ファイル

1行あたりのマス数（初期値）	点訳条件設定画面で、1行あたりのマス数の初期値を設定します。
1ページあたりの行数（初期値）	点訳条件設定画面で、1ページあたりの行数の初期値を設定します。

辞書と専門用語

辞書の学習機能	辞書の学習が必要になったときの動作を設定します。 メッセージを表示せずに辞書を自動書き換えする ：自動的に辞書を更新します。 辞書の書き換えをするときに、メッセージにより確認を求める ：辞書の学習が必要になった時に辞書の更新をするかどうかメッセージを表示します。 辞書の学習を行わない ：辞書の学習は行われません。
専門用語	辞書に登録されている専門用語を利用するかどうか設定します。
辞書と設定をエクスポート	辞書と設定をエクスポートします。エクスポートしたファイルは、自動点訳システム点訳ちゃんのみにご利用できます。
辞書と設定をインポート	自動点訳システム点訳ちゃんで作成したエクスポートファイルをインポートできます。
辞書の初期化	辞書の初期化を行います。

原文エリア

書体	原文エリアの書体を選択します。
文字の大きさ	原文エリアの文字の大きさを選択します。
行間スペース	原文エリアの行間を選択します。
一括点訳時は色分けしない	チェックありにすると、一括点訳の場合は色分け処理をせずより早く処理を終えることができます。
色分けする	色分け処理をするかどうか選択します。
文字の色分け	それぞれの文字種の色を選択します。

分かち書きエリア

書体	分かち書きエリアの書体を選択します。
文字の大きさ	分かち書きエリアの文字の大きさを選択します。
文字の色	分かち書きエリアの文字の色を選択します。
行間スペース	分かち書きエリアの行間を選択します。
スペースをマス目に表示する	チェックを入れるとスペースを <input type="checkbox"/> で表示します

文節候補一覧

書体	文節候補一覧の書体を選択します。
文字の大きさ	文節候補一覧の文字の大きさを選択します。
文字の色	文節候補一覧の文字の色を選択します。
分かち書きエリア等の文節候補 反転色	選択されている文節候補の反転色を選択します。
ワンクリックで決定	チェックありにすると、文節候補一覧の中の項目を選択するときに、ダブルクリックでなく、ワンクリックで選択できます。

点字確認エリア

点字確認エリアを表示しない	選択すると点字確認エリアを表示しません。
点字確認エリアを表示する	選択すると点字確認エリアを表示します。
エリアの広さ	点字確認エリアの広さ（高さ）を設定します。
書体	点字確認エリアの書体を選択します。
点字の大きさ	点字確認エリアの文字の大きさを選択します。
点字の色	点字確認エリアエリアの文字の色を選択します。
スペースに点字コードを使用する	チェックありにすると、スペースは点字コードで表示します。
行間スペース	点字表示エリアの行間を選択します。

印刷

印刷リストの初期値	<p>六点イメージリスト：点字のイメージを墨字印刷します。</p> <p>分かち書きと六点の併記リスト：点字のイメージと、分かち書き併記して印刷します。</p> <p>原文と分かち書きの対比リスト：原文と分かち書きを対比して印刷します。</p> <p>原文のリスト：原文のみを印刷します。</p> <p>分かち書きのリスト：分かち書きのみを印刷します。</p>
-----------	--

その他

表示サイズ	<p>通常が表示：通常の高さで表示します。</p> <p>大きく表示：通常の高さの 1.5 倍で表示します。</p>
処理モード	<p>高精度モード：点訳制度を重視して処理します。</p> <p>高速モード：点訳速度を重視して処理します。</p>
ファイルを開く種類	<p>メイン画面のファイルを開くボタンで開くときにどのファイルを開くか選択します。</p> <p>原文ファイル(txt)：テキストファイルを開きます。</p> <p>点訳ファイル(best)：点訳ファイルを開きます。</p> <p>両方(txt,best)：テキストファイルと点訳ファイル両方開きます。</p>
ファイル履歴の表示数	ファイル履歴の表示数を設定します。
各画面を色付けする	原文エリア、分かち書きエリア、点字エリアの背景を色分けするかどうか選択します。
設定の初期化	設定を初期化します。

メニューの構成

ファイル

原文ファイルを開く(*txt)	原文テキストファイルを開きます。
原文ファイルを開く(文字コードを指定して開く)	文字コードを指定して原文テキストファイルを開きます。
点訳ファイルを開く(*best)	点訳ファイル(ベス・ティ・ファイル)を開きます。
上書き保存(*.best)	点訳ファイルを開いているとき、上書き保存します。
名前を付けて保存(*.best)	原文テキストファイルまたは点訳ファイルを開いているとき、点訳ファイルに名前を付けて保存します。
BES ファイルを作成	点訳ファイルを開いているとき BES ファイルを作成します。
BESX ファイルを作成	点訳ファイルを開いているとき BESX ファイルを作成します。
テキストファイルを作成	点訳ファイルを開いているときテキストファイルを作成します。
印刷	墨字印刷をする画面を開きます。
文書と閉じる	テキストファイルや点訳ファイルを開いているとき、開いているファイルを閉じます。
終了	自動点訳システム点訳ちゃんを終了します。
履歴ファイルのリスト(最高 50 項目)	開いたファイルの履歴を、最高で 50 項目表示します。

編集

元に戻す	編集を 1 つ元に戻します。
やり直し	「元に戻す」を 1 つやり直します。
コピー	選択した部分をクリックボードにコピーします。
貼り付け	クリックボードから貼り付けます。
切り取り	選択した部分をクリックボードに切り取ります。
すべて選択	全て選択します。
原文検索	原文エリアを検索するための画面を表示します。
分かち書き検索	分かち書きエリアを検索するための画面を表示します。

点訳

点訳条件の変更	点訳条件設定画面を開きます。
段落再点訳	現在の段落を再点訳します。
前の段落	前の段落に移動します。
次の段落	次の段落に移動します。
先頭	先頭の段落に移動します。
末尾	末尾の段落に移動します。
段落ジャンプ	段落ジャンプの画面を表示します。
しおり設定	現在の段落にしおりを設定します。
しおりへジャンプ	設定したしおりにジャンプします。
特殊記号	分かち書きエリアで、特殊記号を入力する画面を表示します。

辞書

辞書保守	点訳辞書の保守画面を表示します。
辞書 Backup の作成	システム内に辞書のバックアップを作成します。 (他のPC等への辞書の移行は、環境設定の中の辞書専門用語の「辞書と設定をエクスポート」をご利用ください)
辞書 Backup からの復元	システム内に作成した辞書のバックアップから復元します。 (他のPC等からの辞書の移行は、環境設定の中の辞書専門用語の「辞書と設定をインポート」をご利用ください)

設定

環境設定	環境設定画面を表示します。
設定を初期値に戻す	環境設定を初期値に戻します。

ヘルプ

バージョン情報	バージョン情報を表示します。
更新の確認	更新の確認画面を表示します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

ライセンスの購入・登録・解除・リセット

1. ライセンスのご購入

14 日間のお試し期間は全ての機能をご利用いただけます。機能をご確認いただいたあと、ライセンスをご購入いただきますと、それ以降継続してご利用いただけるようになりますので、ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

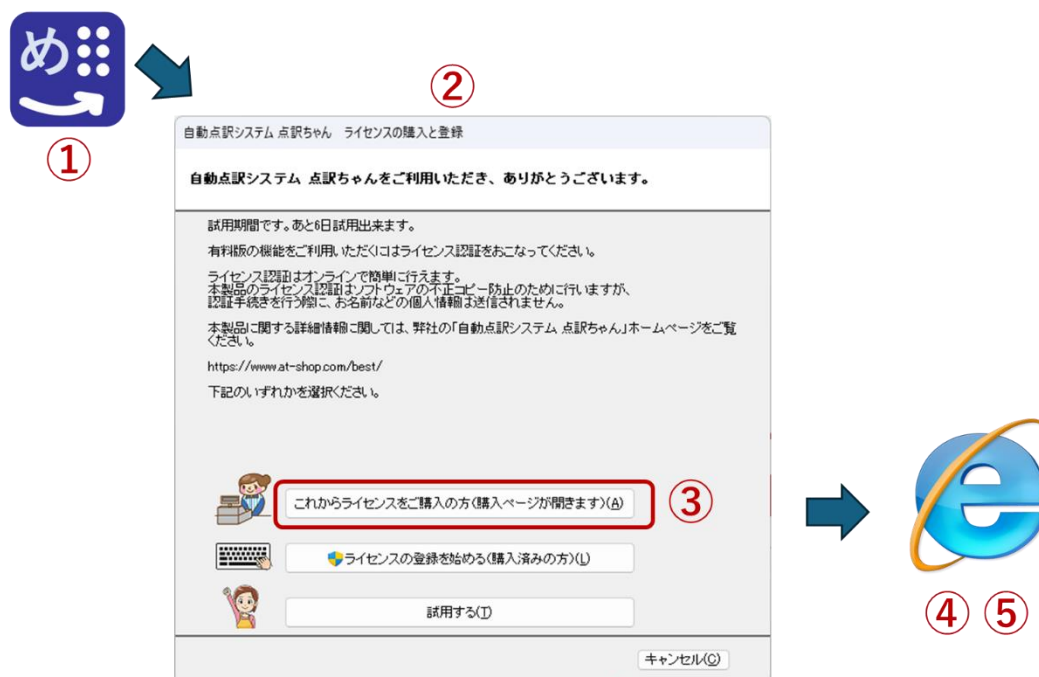
1-1.ライセンスを購入する前に下記の項目についてご確認ください

- ✓ ライセンスを購入前に、ダウンロードおよびインストールをして 14 日間のお試し期間中に動作確認および点訳品質についてご確認ください。
- ✓ 特に、点訳品質について、本ソフトウェアで点訳した結果には、誤った点訳結果も含まれる可能性がありますので、点訳後および点字ファイル作成後のそれぞれのタイミグで校正（確認と修正）は必ず必要となることにご留意ください。
- ✓ 領収書・見積書・納品書・請求書等の書類の発行は行っておりません。（クレジットカードの明細書や銀行振込の控え等をご利用ください）（販売事業者様への各種書類の発行も行っておりません）
- ✓ ライセンス証の発行は電子メールのみでの発行となります。（郵送や FAX 等による発行は行っておりません。）
- ✓ 電子メールで発行されるライセンス証は、お客様の使用権を証明する重要な電子メールです。大切に保管してください。
- ✓ 下記の手順で表示されるライセンス購入ページにある「利用規約」「販売購入規約」「プライバシーポリシー」「特定商取引に関する記述」を必ずお読みください。
- ✓ ライセンスの購入は、起動時に表示される「ライセンスの購入と登録」画面から行います。

1-2.ライセンスの購入手続き（通常手順）

1. 自動点訳システム点訳ちゃんを起動します。
2. 「ライセンスの購入と登録」画面が開きます。
3. 「これからライセンスをご購入の方（購入ページが開きます）」を選択します。
4. 標準の Web ブラウザーで、ライセンス購入ページが開きます。
5. このあとは、開いた、ライセンス購入ページに書かれている注意書き等をよくお読みになって、購入手続きを進めてください。
6. 電子メールでライセンス番号がお手元に届きましたら、次の項目の「2. 有料版登録

(ライセンス番号の登録)」の作業を行ってください。



1-3.インストールしていないコンピュータからの購入手続き

自動点訳システム 点訳ちゃん をインストールしていないコンピュータから購入手続きをする場合は下記のリンクより、購入サイトを開いてください。

自動点訳システム 点訳ちゃん ライセンス購入ページ

<https://www.at-shop.com/best/>

(※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)

2. 有料版登録 (ライセンス番号の登録)

ライセンスを購入し、ライセンス番号がお手元にあるお客様は、下記の手順で登録します。登録するパソコンがインターネットに接続している場合と、そうでない場合で登録手順が異なります。どちらの場合でも、まず、ライセンス登録画面を開いてください。

2-1.ライセンス登録画面を開く

1. 自動点訳システム点訳ちゃんを起動します。
2. 「ライセンスの購入と登録」画面が開きます。

- 画面の下半分にある「ライセンス登録を始める（購入済みの方）」を選択します。
- ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら「はい」を選択します。
- 「自動点訳システム 点訳ちゃん ライセンス登録」の画面が開くのを確認します。



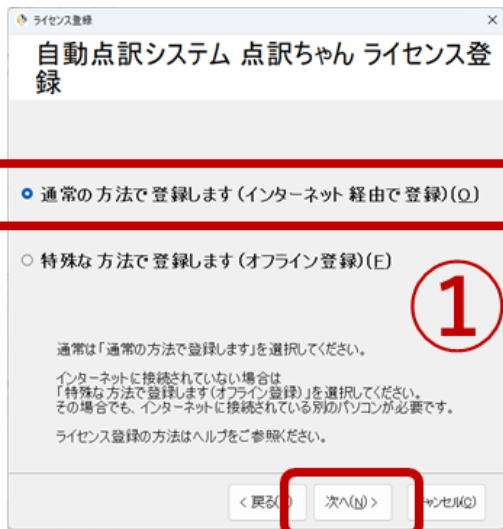
2-2.登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（通常手順）

「通常の方法で登録します（インターネット経由で登録）」を選択してください。

弊社ライセンス登録サーバーに接続してライセンスを登録します。

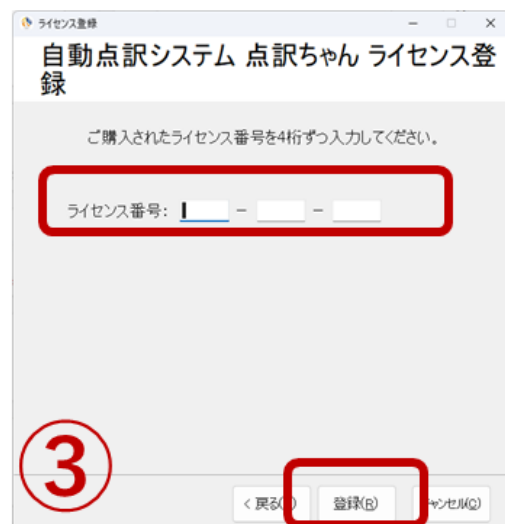
（※登録するパソコンがインターネットに接続していない場合は「登録するパソコンがインターネットに接続していない場合」をご参照ください。）

- 「通常の方法で登録します（インターネット経由で登録）」を選択して、次へボタンを押してください。
 - 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。
 - ライセンス番号を入力して、登録ボタンを押してください。
 - 登録完了のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押してください。
- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OK ボタンを押して、再入力してください。
 - 登録サーバーに接続できなかった場合は、画面の下半分に、その旨のメッセージが表示されます。必要に応じて「登録ボタン」または「パスワード登録」ボタンを押してください。



1. 「通常の方法で登録します」を選択して、次へボタンを押してください。
2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。
3. ライセンス番号を入力して、登録ボタンを押してください。
4. 登録完了のメッセージが表示されたら、OKボタンを押してください。

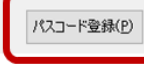


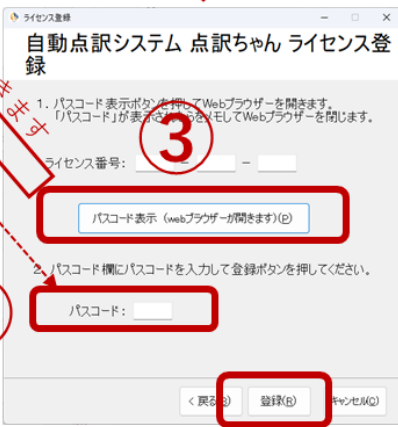


- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OKボタンを押して、再入力してください。
- 登録サーバーに接続できなかった場合は、画面の下半分に、その旨のメッセージが表示されます。必要に応じて「登録ボタン」または「パスコード登録」ボタンを押してください。



2-3.登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（パスコード）

通常の登録で、登録ボタンを何度押しても、接続エラーになる場合は、「パスコード登録」という方法で登録できます。パスコード登録をするには「パスコード登録」ボタンを押してください。

※インターネットに接続しているか確認してからもう一度「登録」ボタンを押してください。
 ※何回やっても接続できない場合は「パスコード登録」ボタンを押してください。

Webブラウザの画面

パスコードが取得できました。
 パスコード:12AB

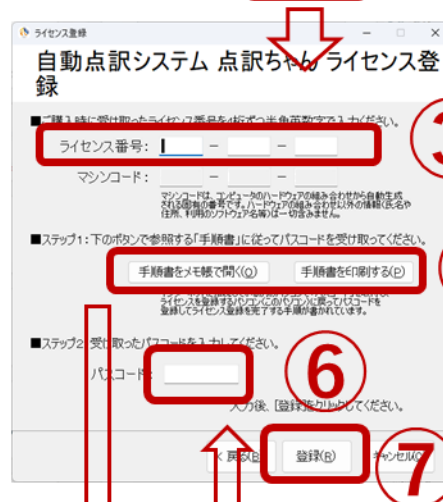
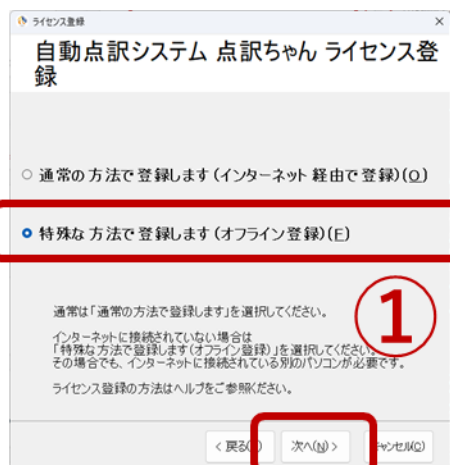
Webブラウザが開きます
 パスコードを確認して入力

1. パスコード登録ボタンを押してください。
2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。
3. パスコード表示ボタンを押してください（Webブラウザが開きます）。
4. Webブラウザの画面に、パスコードが表示されるので、それをメモしてください。
5. Webブラウザを閉じて、ライセンス登録画面に戻り、パスコードを入力して、登録ボタンを押してください。
6. 登録完了のメッセージが表示されたら、OKボタンを押してください。

- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OKボタンを押して、再入力してください。

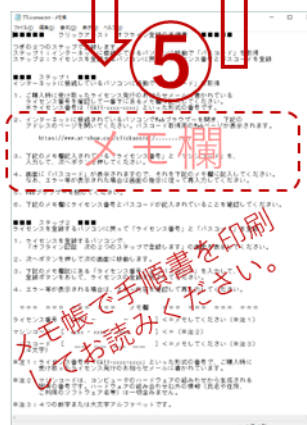
2-4.登録するパソコンがインターネットに接続していない場合の手順（特殊手順）

インターネットに接続している別のパソコンで、弊社のライセンス登録サーバーにアクセスし「パスコード」を取得します。取得したパスコードを、登録するパソコンに入力することで、ライセンスを登録することができます。詳しい手順は、途中で印刷する手順書に書かれていますので、その手順書にしたがって登録を進めてください。



1. 「特殊な方法で登録します」を選択して、次へボタンを押してください。
2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。
3. ライセンス番号を入力してください。
4. 表示または印刷ボタンで、手順書を印刷してください。
5. 手順書を読んで、パスコードを取得して、手順書にメモしてください。
6. パスコードを入力してください。
7. 登録ボタンを押してください。

- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認して、OKボタンを押してください。



オフライン登録の手順書の印刷例

※この手順書の印刷例に記載されている情報では、ライセンス登録はできません。オフライン登録を行う際は、必ず登録を行うパソコンで表示または印刷を行ってください。

■■■■■ 自動点訳システム 点訳ちゃん オフライン登録の手順書 ■■■■■

オフライン登録は次の2つのステップで登録します。

ステップ1：インターネットに接続しているパソコンで「パスコード」を取得

ステップ2：ライセンスを登録するパソコンに戻ってライセンス番号とパスコードを登録

■■■ ステップ1 ■■■

インターネットに接続しているパソコンで「パスコード」を取得

1. インターネットに接続されているパソコンで Web ブラウザーを開き、下記のアドレスのページを開いてください。パスコード取得用の Web ページが表示されます。

=== === パスコード取得用の Web ページ === ===

<https://www.at-shop.com/xxxxxxxx/xxxxxxxx/>

=== === メモ欄 === ===

ライセンス番号 [xxxx - xxxx - xxxx]

マシンコード [xxxx - xxxx - xxxx]

パスコード [____ ____ ____ ____] <= (書き込んでください)
(4文字)

=== ===

(※) マシンコードは、コンピュータのハードウェアの組み合わせから自動生成される固有の番号です。ハードウェアの組み合わせ以外の情報（氏名や住所、ご利用のソフトウェア名等）は一切含みません。

2. 上記のメモ欄に記載されている「ライセンス番号」と「マシンコード」を、Web ページの画面に入力して、次へボタンを押してください。
3. 画面に「パスコード」が表示されますので、上記のメモ欄に書き込んでください。
4. Web ブラウザーを閉じてください。

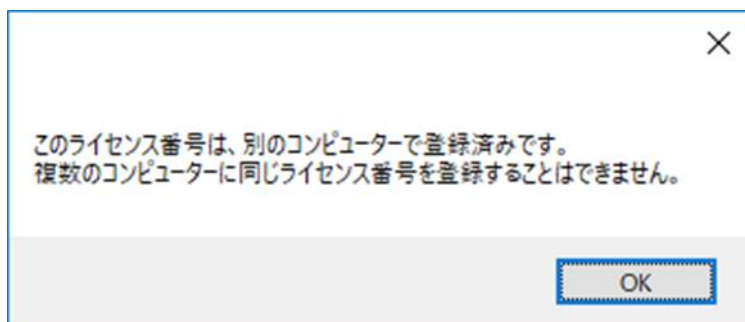
(※) エラーなどが表示された場合は画面の指示に従って再入力等してください。

■■■ ステップ2 ■■■

ライセンスを登録するパソコンに戻って「ライセンス番号」と「パスコード」を登録

1. この手順書を印刷した画面に戻ってください。
(画面が表示されていない場合は、ライセンス登録画面から選択してください)
2. 上記のメモ欄と同じ「ライセンス番号」と「マシンコード」が表示されていることを確認の上、「パスコード」を入力して、登録ボタンを押してください。
(ライセンス番号が表示されていない場合は、ライセンス番号を入力してください)
3. エラー等が表示される場合は、エラー内容を確認して再入力してください。

2-5.エラー（このライセンス番号は、別のコンピュータで登録済みです）の場合



ライセンス番号は、1台のコンピュータに1つだけ登録できます。複数のコンピュータに1つのライセンス番号を登録して利用することはできません。

新規購入等で、新しいパソコンでご利用になる場合は、古いパソコン（現在登録済みのパソコン）でライセンスの解除をすると、新しいパソコンで再登録できます。なお、故障等で起動できず、古いパソコン（現在登録済みのパソコン）でライセンスの解除ができない場合は、ライセンスのリセットの申し込みをすることができます。

ライセンスの解除と、ライセンスのリセットについて

ライセンスの解除と、ライセンスのリセットに関する詳細については、下記の URL をご参照ください。

<https://www.at-shop.com/best/ninshou/release.php>